

年報

—平成 18 年度—

2007

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

ここに大磯町郷土資料館の平成 18 年度年報を刊行いたします。

当館は、昭和 63 年 10 月に開館以来、『湘南の丘陵と海』のテーマを掲げさまざまな活動を実践してきました。平成 18 年度には開館 18 年目を数え、博物館施設として成熟期を迎えています。しかし、近年では町の財政状況とともに、博物館を取り巻く環境はたいへん厳しい状況が続いています。このような中であって、平成 18 年度も引き続いて効率的な施設の維持管理を目指しつつ、博物館施設としての機能や役割を十分認識した活動を進めてきました。

主な事業内容としては、まず、かねてからの懸案であった常設展示室の一部展示替を行ないました。予算措置はなく、大規模な展示替えはできませんでしたが、自然系資料の展示を新設するなど、4つのコーナーについて実施しています。次に町事業に関連した特別公開（ミニ展示）を開催したことがあげられます。旧吉田邸の町主催見学会が開催されるにあたって特別公開『吉田茂の遺品』を開催し、鳴立庵で毎年開催される西行祭が開催 50 回にあたることから特別公開『鳴立庵の庵主たち』を開催するなど、町事業と歩調を合わせつつ柔軟にかつ積極的に対応すべく急遽企画いたしました。いずれも常設展示室の一コーナーを使用したミニ展示ですが、入館者数のうえでは一定の成果がみられました。その他に、大磯照ヶ崎海岸に飛来するアオバトが神奈川県天然記念物に指定されて 10 周年を迎えたことから、アオバトをテーマとした記念展示を開催しました。また、高来神社と慶覚院に残されている旧高麗寺の神仏像を集めた展示を行ないました。本展示では、慶覚院本堂の改築に相俟って、県重文である木造地藏菩薩坐像の展示を実現することができました。また、企画展開催にあわせてギャラリートークを開催し、より深い理解を求めました。

ワークショップでは、引き続き「草と木の調査」、「古文書裏打ちの会」、「海の教室」を開催し、参加者とともに地域の環境や文化を明らかにする活動を行ないました。また、各種の出前講座などを行なうなど、蓄積した情報や資料を地域に対して積極的に還元するように務めました。地道な活動を念頭におきながら、地域の方々とともに調査や整理作業を進めています。

今後とも資料館活動についてご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目次

〔事業報告〕

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	2
・入館者	3
学芸	4
・常設展	4
・企画展	5
・学級／講座	8
・刊行物	11
・調査／研究／普及	11
・博物館実習	12
・博物館資料の収集と利用	14

〔研究報告〕

大磯町郷土資料館におけるレファレンスについて 佐川和裕	26
--------------------------------	----

事業報告

庶 務

■組織および職員

教育長	—	教育次長	—	郷土資料館	—	(郷土資料班)
渡邊修司 (～平成18年11月)		鈴木一男		館長(兼務)福島伸芳		副主幹 鈴木 孝 副主幹/学芸員 佐川和裕 主任主事/学芸員 北水慶一 庁務作業員 野呂勝典 (平成18年10月～) 臨時職員 加藤廣美 臨時職員 渡邊恵子 臨時職員/学芸員 近藤直子

■運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長/石田和夫 (有識者)
- ・副委員長/廣瀬利郎 (社会教育委員)
- ・委員/稲葉和也 (文化財専門委員)
近藤英夫 (町史編さん委員)
鈴木敬美 (学校長)

<委員会の開催>

- ・第1回/平成18年10月17日 平成17年度事業報告について、平成17年度事業計画および予算について、その他
- ・第2回/平成19年2月6日 平成18年度事業の進捗状況について、平成19年度事業計画について

■予算

<当初予算の推移>

単位:円

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
金額	62,801,000	61,638,000	60,940,000	63,293,000	61,188,000	71,083,000

<平成18年度決算>

単位:円

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	郷土資料館改修事業
金額	45,500	3,090,746	13,195,339	1,715,254	412,302	1,564,500
事業計						
金額	20,023,641					

□職員給与(4人分) 30,370,785円

■歳出合計 50,394,426円

■維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託/(株) 郵生
- ・空調設備給水設備保守委託/高砂熱学工業(株) 横浜支店

- ・消防用設備保守委託／(株) 三栄防災
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・自動ドア保守委託／(株) 神奈川ナブコ 厚木支店
- ・自家用電気工作物保守委託／浅葉電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業(有)
- ・警備委託／(株) 全日警 横浜支社
- ・敷地管理委託／(財) 神奈川県公園協会
- ・収蔵資料燻蒸委託／(株) テクノ・マインド
- ・祭り船解体・組立(展示)委託／大磯御船祭保存会
- ・木造神像保存処理委託／(有) 光圓美術研究所

■入館者

<入館者の推移>

単位：人、日

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	累計(昭和63年～)
入館者数	30,835	28,497	28,250	26,421	28,966	614,605
1日平均/開館日数	112/274	100/285	97/291	89/296	99/291	116/5,262

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,815	3,159	2,102	2,045	1,790	1,788	2,897	3,312	1,639	1,831	2,574	3,014	28,966
1日平均	112	126	100	85	68	71	116	132	71	79	111	115	99

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	1	1	2	1	3	1	2	2	0	2	1	18

<学校利用>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	1						1						2
小学校							2						2
中学校													0
その他									1				1
合計	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	5

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	19	10	11	11	9	8	10	11	14	12	15	13	143

学 芸

■常設展

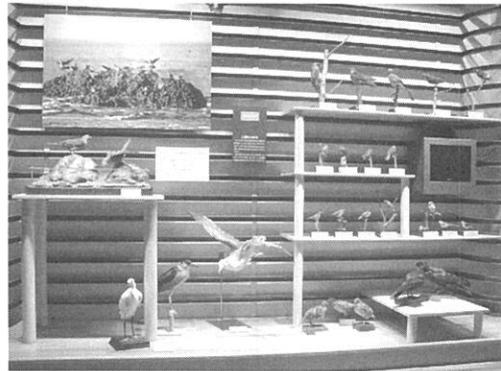
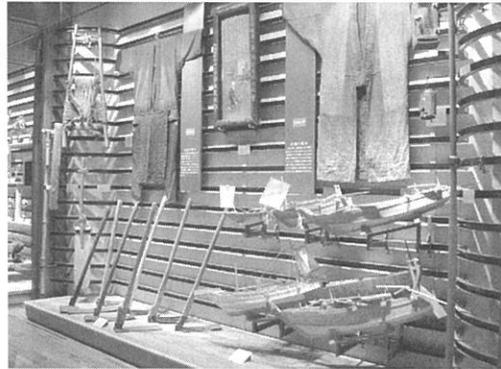
湘南の丘陵と海（一部展示替え）

期 日／平成19年3月1日（木・館内整理日）

（趣 旨） 常設展示室に自然分野の展示を組み入れることを主目的として一部展示替えを行なった。当館は、昭和63年の開館以来、大磯と周辺地域を含む豊かな風土の広がりを「湘南の丘陵と海」というテーマとしてとらえて常設展示を展開している。常設展示室では、＜Ⅰ 生活の芽生えと定住文化＞＜Ⅱ 文化の交流と道の変遷＞＜Ⅲ 伝承・民話のこころ＞＜Ⅳ 豊かな風土と自然＞＜Ⅴ 歴史が語る品々＞＜Ⅵ 海洋文化と民俗＞という大テーマのもとに、それぞれいくつかの小テーマを設けて各ブロック（コーナー）ごとに展示を構成している。その後、開館10年を経た平成10年に常設展示室の大幅な展示替工事を実施する予定であったが、町の財政状況が悪化し、展示替工事は無期延期となった。その後、まもなく開館20年を迎えようとする今日まで展示替工事は実現していない。この間、常設展示室のマンネリを防ぐために、折をみて展示資料を個々に交換するなどの対処は行なってきたが、テーマや基本的な展示構成はそのままであるため、展示替えを実施したことも気づかない利用者が多いなど、十分な効果は認められていない。今回は、予算的な措置は全くないものの、新たなテーマの展示ブロック設置を含めて若干規模の大きな展示替えを実施した。

（内 容） 展示替えを実施したのは、常設展示のうち、「海水浴場と別荘」「豊作豊漁への願い」「丘陵の恵み」「黒潮の恵み」の4ブロックである。まず、「海水浴場と別荘」では、既存の展示資料の約半数を入れ換え、新たに明治時代に使用されたコルク製の浮き輪や波乗用のイタゴなどを加えた。更に、海水浴場を開設した松本順のの生人形（いきにんぎょう）の展示とあわせて、新たに同氏のブロンズ像を展示するなど、資料のボリュームアップを図った。また、「豊作豊漁の願い」では、既存の展示資料の並び変えの他、町指定となった白岩神社祭礼の流鏝馬（やぶさめ）行事に使用される弓矢と的を加えている。「丘陵の恵み」と「黒潮の恵み」は、それぞれが個別のブロックであったが、1ブロックに集約して再構成することにした。したがって、双方のテーマともに展示面積は半減することになり、テーマを説明するだけの資料数を確保するのは難しく、極めて概略的な構成となってしまったことは否めない。しかし、これによって1ブロックが空いたため、「大磯町の野鳥」をテーマとした新たなブロックを設けた。＜豊かな風土と自然＞という大テーマに沿って、1年を通して目にするのできる留鳥と、大磯照ヶ崎に集団飛来し天然記念物に県指定されているアオバトを取り上げた。展示内容は23種26点の剥製である。当館では、もともと人文系博物館として設置される計画であったため、自然分野を取り扱うことになったのは開館直前であった。したがって、自然分野担当の学芸員は開館当初から在職していたものの、常設展示には自然分野の展示はなく、特別展や企画展によって対応してきたのである。これまでのように、テーマを変えずに展示物を交換しても、その実施に気づくりピーターは少なかったが、今回はテーマを一新して、さらに野鳥の剥製を展示したことで、展示替えを実施したという印象は与えられるものと思われる。また、子ども向けの展示物が少ない当館にとっては、野鳥の剥製は子どもたちの評判も上々である。

なお、展示替え作業は3月1日の館内整理日に実施した。しかし、僅か1日で既存の資料を撤去または移動し、さらに新たな資料を展示しなければならず、時間的にはかなり厳しい作業行程となった。（担 当） 佐川、北水



■企画展

江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展Ⅱ（平成17年度から継続）

「酒一宴の道具―」

期 間／平成18年2月5日（日）～ 5月7日（日）

開場日数／76日間

会 場／企画展示室

資料点数／約200点

料 金／無料

入場者数／10,212人

（趣旨・内容）江戸民具街道との共催展として開催した。同館が所蔵している酒器コレクションを中心に、酒器の持つ意味、機能、素材、形態、意匠、美しさなどを視点に、人と酒とのかかわりについて酒器を媒介に考えた。なお詳細については、前年度（平成17年度）の年報を参照願いたい。

（担当）佐川

特別公開「吉田茂の遺品」

期 間／平成18年4月14日（金）～ 5月31日（水）

開場日数／40日間

会 場／常設展示室

出品点数／16点

料 金／無料

入場者数／4,895人

（趣旨）2月12日（金）～13日（土）の2日間にわたって旧吉田茂邸の町主催見学会が開催されることになったことから関連事業として急遽企画した。

（内容）既に前年度（平成18年2月）に開催された見学会時にも展示を開催（2月10日～28日）したため、第2回目として展示内容を若干変更・増補して展示した。今回は当館が所蔵している同氏にかかわる資料の他に、町内施設で所蔵している資料



を一部借用した。なお、本展示中は企画展が並行して開催されているため、企画展示室を使用できず、常設展示室の「街道と宿場」の展示コーナーを使用した。開会日は旧吉田茂邸見学会開催日に合わせた。常設展示物を一部撤去する必要があったことから、前日の閉館後における撤去・列品作業となった。また、閉会後の常設展示物の復元に館内整理日をあてたため会期は月末までとした。2月における公開では、観覧者の声として展示資料が少なすぎるとの感想が上がったため、今回は町内施設から資料を借用展示したが、面積上17点でほぼ限度であった。

<展示資料一覧>

No.	資料名	数量	寄贈者・寄託者（敬称略）	備考
1	扁額	1	麻生和子	吉田茂書「五賢堂」
2	葉巻入れ	1	麻生和子	
3	灰皿・マッチ	2	麻生和子	
4	花瓶	1	麻生和子	
5	掛軸	2	麻生和子／西小磯地区	吉田茂書
6	風呂敷	1	麻生和子	
7	胸像（石膏像）	1	福井弘子	
8	本箱	1	西海 誠	耕余塾で使用
9	吉田茂杯	2	大磯中学校	
10	扁額・由来書	3	大磯中学校／月京地区	吉田茂書
11	子ども会の旗	1	西小磯西子ども会	吉田茂書

*パネル類を除く

（担当）佐川

「アオバトのふしぎ～神奈川県天然記念物指定 10 周年記念～」

期 間／前期展示：平成 18 年 5 月 28 日(日) ～ 6 月 25 日(日)

後期展示：平成 18 年 7 月 4 日(火) ～ 7 月 30 日(日)

開場日数／48 日間

会 場／企画展示室

出品点数／約 200 点

料 金／無料

共 催／こまたん(湘南地方を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体)

後 援／神奈川県教育委員会

入場者数／4,682 人

(前期展示：2,637 人 後期展示：2,045 人)

(趣旨) 平成 8 年 2 月、大磯町照ヶ崎は全国的にみても数少ないアオバトの海水吸飲飛来地として県の天然記念物に指定された。指定から 10 年の節目にあたる平成 18 年、残すべき自然と再度認識し、アオバトの生態について広く周知を図ることを目的に企画展を開催した。

(内容) 本展は会期中(6 月 26 日～7 月 3 日)に一部展示替えを行ない、前期と後期の 2 期に分けて展示を行なった。展示資料は主に長年、アオバトに関して調査を行なっている『こまたん』から提供していただいた。前期展示では「なぜ海水を飲むのか？」をテーマに照ヶ崎における集団海水吸飲の状況とともにこれまでの調査結果をもとに考察される海水を飲む理由(仮説)等を紹介した。後期展示では「どんぐらしをしているのか？」をテーマに発育段階に見られる形態の違い、冬の時期のぐらし、海岸以外の場所で見られる塩分摂取の状況を紹介した。本展は前期、後期ともに資料は写真パネルが主であり、一見しただけでは分かりづらい内容を補足するため、展示会場内や隣接するスペースにアオバトに関する映像装置や音声装置を設け、観覧、聴取ができるようにした。また、企画展示室内にアオバトのボードモビールを吊り下げ、照ヶ崎における飛来の状況を実感していただけるように演出した。



<こまたんとの企画展打ち合わせ・展示準備の日程および内容>

回	日時	内 容	回	日時	内 容
第1回	2月12日 13:30～17:00	・企画展示室の構造・展示器材について確認 ・企画展企画(案) ・企画展準備計画	第8回	5月14日 13:00～17:00	・前回の打ち合わせ事項の確認 ・ボードモビールの作製 ・展示準備のスケジュールについて
第2回	2月26日 13:30～17:00	・前回の打ち合わせ事項の確認 ・展示構想について ・企画展関連行事について	第9回	5月20日 9:00～17:00	・ボードモビールの作製 ・パネル、キャプションの作製 ・『世界のハト』展示コーナーの資料配置 ・『照ヶ崎とアオバト』展示コーナーの資料配置
第3回	3月12日 13:30～17:00	・前回の打ち合わせ事項の確認 ・展示構想について ・広報おおいそ5月号の原稿について	第10回	5月21日 9:00～17:00	・パネル、キャプションの作製 ・『なぜ海水を飲むのか?』展示コーナーの資料配置
第4回	3月26日 13:30～17:00	・前回の打ち合わせ事項の確認 ・展示構想について ・企画展のリーフレットについて	第11回	5月27日 9:00～12:00	・『シーボルトとアオバト』展示コーナーの資料配置
第5回	4月8日 13:30～17:00	・前回の打ち合わせ事項の確認 ・企画展のリーフレットについて ・企画展関連行事「ミュージアムトーク」の概要について ・広報おおいそ6月号の原稿について	第12回	6月4日 13:00～17:00	・後期展示の写真パネルの選出
			第13回	6月10日 13:30～17:00	・後期展示資料の配置確認 ・解説パネル原稿作成
第6回	4月30日 13:00～17:00	・前回の打ち合わせ事項の確認 ・企画展のリーフレットの校正 ・展示準備の進め方について	第14回	6月17日 14:00～17:00	・後期展示キャプション作製 ・ミュージアムトークの打ち合わせ
第7回	5月13日 14:00～17:00	・展示資料の抽出 ・展示準備のスケジュールについて ・広報おおいそ7月号について	第15回	6月26日 9:00～12:00	・前期展示の資料解体と後期展示の資料配置

(担当) 北水

文化財特公開「旧高麗寺の神と仏—神仏混淆を体感する—」

期 間／平成18年10月15日(日)～平成19年3月31日(日)

開場日数／134日間

会 場／企画展示室

出品点数／22点

料 金／無料

入場者数／14,232人



(趣旨) 明治政府による神仏分離政策によって廃寺となった高麗寺は、古代から近世に至るまで神仏習合の信仰のもとで隆盛を極めた。境内の諸堂は兵火に焼かれ、老朽により改められてしまったが、祀られていた神仏像は今なお現存していることから高麗寺の宗教空間を再現することのできる神仏像を集めて展示し、あわせて当時の雰囲気を感じてもらおう。

(内容) 明治政府の神仏分離政策によって神社・寺院にそれぞれ分かれて保管されてきた神仏像を一堂に会した。神奈川県指定重要文化財に指定されている木造地藏菩薩坐像をはじめとした慶覚院に所蔵されている仏像9軀(うち1軀は写真展示)、大磯町指定有形文化財に指定されている木造神像をはじめとした神像や棟札など5軀4点を中心に展示した。木造地藏菩薩を所蔵する慶覚院では、本堂の改修工事を開始することになっており、改修時期にあわせた形での展示となった。なお、同像は保存状態が悪く、来年度以降の修理に向けて準備を進めているところであり、修理が可能となった場合には、現状の像容を見ることのできる最後の機会となることから、タイムリーな企画となった。また、町指定有形文化財の高来神社の木造神像群は、本展示の直前に神奈川県立歴史博物館の特別展示において出展されており、再度の展示を望む声が大きかったこともあり、残欠を含む4軀の像を選抜して展示した。

<展示資料一覧>

No.	資料名	数量	所蔵者(敬称略)	備考
1	木造地藏菩薩坐像	1	慶覚院	建治4年、県指定重要文化財
2	木造伝掌善童子立像	1	慶覚院	文化3年
3	木造伝掌悪童子立像	1	慶覚院	文化3年
4	木造虎御前坐像	1	高来神社	江戸時代
5	台座残欠	1	高来神社	正徳2年
6	木造天海僧正坐像	1	慶覚院	江戸時代
7	木造男神立像	1	高来神社	鎌倉時代、町指定有形文化財
8	木造女神立像	1	高来神社	鎌倉時代、町指定有形文化財
9	木造僧形立像	1	高来神社	鎌倉時代、町指定有形文化財
10	木造女神像(頭部残欠)	1	高来神社	弘安5年、町指定有形文化財
11	木造毘沙門天立像	1	慶覚院	平安時代
12	木造白山大権現立像	1	慶覚院	江戸時代
13	木造仁王像	2	慶覚院	寛永11年、町指定有形文化財
14	仁王尊像棟札	1	高来神社	寛永11年
15	千手観世音堂棟札	1	高来神社	享和元年
16	木造千手観音立像(写真展示)	1	慶覚院	平安時代、町指定有形文化財
17	高麗寺村領地絵図(写真展示)	1	当館	寛延3年、町指定有形文化財
18	天海僧正より高麗寺雲上院掟書	1	高来神社	寛永20年
19	御分間絵図御用村方明細書上帳	1	当館	享和3年
20	高麗権現再建につき本寺寛永寺への届出書	1	当館	安政5年
21	高麗明神領明細書上	1	当館	明治3年

*解説パネル類を除く

(担当) 佐川

特別公開「鳴立庵の庵主たち」

期 間／平成19年3月2日(金)～4月30日(月)

開場日数／51日間

会 場／常設展示室

出品点数／27点

料 金／無料

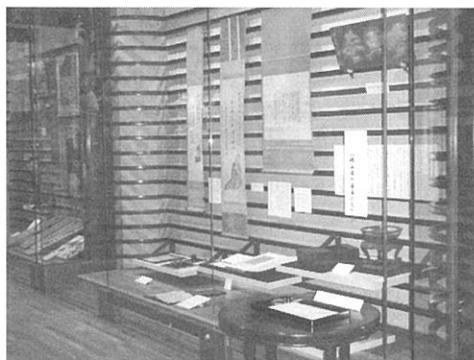
入場者数／5,371人

(趣旨) 本年度、西行祭開催50回目にあたることから、関連事業として急遽企画された。

(内容) 鳴立庵の歴代庵主たちが遺した品々を展示し、その足跡の一端を紹介した。対象とした庵主は、一世大淀三千風、五世加舎白雄、六世西奴、十二世菅喜多松頂、十八世鈴木芳女、二十一世草間時彦である。

その他に鳴立庵に伝わる什器などによって展示を構成した。なお、常設展示室の一ブロック(を撤去して展示を行なう必要があったため、3月1日および5月1日の館内整理日にあわせて作業を実施した。

<展示資料一覧>



No.	資料名	数量	所蔵者(敬称略)	備考
1	『田鳥集』	1	大磯町	大淀三千風
2	受取書	1	大磯町	大淀三千風
3	孫の手画賛	1	大磯町	大淀三千風
4	『謡曲 鳴立沢』	1	大磯町	大淀三千風
5	『俳諧寂菜』	1	大磯町	加舎白雄
6	大年の句	1	大磯町	西奴
7	松頂印書物	6	大磯町	菅喜多松頂
8	時処人哀悼の句(軸)	1	大磯町	鈴木芳女
9	寄書石	1	大磯町	鈴木芳女
10	『大磯俳句読本』	1	大磯町	草間時彦
11	扁額	2	大磯町	「鳴立庵」
12	三宝	1	大磯町	
13	硯	1	大磯町	
14	香炉	1	大磯町	
15	印鑑	7	大磯町	

*解説パネル類を除く

(担当) 近藤

■学級・講座

<草と木の調査>

日 時／平成18年4月22日(土)、6月10日(土)・24日(土)、7月8日(土)・22日(土)、
8月5日(土)・26日(土)、9月9日(土)、10月14日(土)・28日(土)、11月25日(土)、
平成19年1月13日(土)・27日(土)、2月10日(土)・24日(土)、3月10日(土)・
24日(土)

場 所／当館研修室、町内

参加者／延168人

(内容) 前年度まで県立大磯城山公園を拠点に活動を進めてきたが、平成18年度から万台こゆるぎの森に調査地を変更した。万台こゆるぎの森の植物調査は4年計画を予定している。1年目の本年度は花暦調査を中心に6月から10月まで予行調査を行ない、1月以降は本調査を進めた。並行して樹木調査も実施した。また、昨年度までの城山公園の植物調査を補足すべく城山公園において花暦調査、樹木調査を実施した。

月 日	内 容	月 日	内 容
4月22日	ガイドンス	10月28日	城山公園の花ごよみ調査
6月10日	万台こゆるぎの森の花暦調査(予行調査)	11月25日	城山公園の植物名ラベルの設置状況調査
6月24日	城山公園の植物名ラベルの設置状況調査	1月13日	万台こゆるぎの森の花暦調査(本調査)
7月8日	万台こゆるぎの森の花暦調査(予行調査)	1月27日	万台こゆるぎの森の樹木調査
7月22日	城山公園の樹木調査	2月10日	万台こゆるぎの森の花暦調査(本調査)
8月5日	万台こゆるぎの森の花暦調査(予行調査)	2月24日	万台こゆるぎの森の樹木調査
8月26日	城山公園の樹木調査	3月10日	万台こゆるぎの森の花暦調査(本調査)
9月9日	万台こゆるぎの森の花暦調査(予行調査)	3月24日	万台こゆるぎの森の樹木調査
10月14日	万台こゆるぎの森の花暦調査(予行調査)		

(担 当) 北水

<企画展『アオバトのふしぎ』関連行事>

①アオバト観察会

日 時／①平成18年5月28日(日)
 ②平成18年6月25日(日)
 ③平成18年7月30日(日)

場 所／大磯町照ヶ崎海岸

講 師／こまたん(湘南地方を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体)

参加者／延べ243人

(①19人、②74人、③150人)

(内 容) 企画展会期中の毎月最終日曜日に、海水吸飲飛来地 照ヶ崎においてアオバトの観察会を行なった。第1回の5月28日の観察会は降雨の中での実施となり、アオバトの飛来数は少なく、またご来場いただいた方も少なかったが、第2回以降は天候に恵まれ、多くの飛来を目にすることができた。観察会の参加人数も回を重ねるごとに増えていった。



②ミュージアムトーク「アオバトのふしぎ」

日 時／平成18年6月25日(日)

会 場／当館研修室・企画展示室

講 師／アオバト探検隊

(こまたんメンバーの有志)

参加者／72人

(内 容) 企画展の展示資料だけでは伝えることのできないアオバトの生態や実際の調査活動の様子を解説していただいた。照ヶ崎での海水吸飲行動の様子や丹沢山地堂平での繁殖行動の様子を捉えたスライドを上映するとともに、京都御苑における採餌の様子を捉えた、とても貴重な映像もご紹介いただいた。

(担 当) 北水



<企画展「旧高麗寺の神と仏」関連行事>

ギャラリー・トーク

日 時/平成18年11月12日(日)、12月10日(日)
平成19年2月11日(日)、3月11日(日)

場 所/企画展示室

回 数/22回

講 師/当館学芸員

(内容) 企画展の開催にあわせ、より深く理解を得るために展示解説をおこなった。いずれも午後1時から3時までの時間を設定し、求めに応じて解説や質疑応答をおこなった。

(担当) 佐川

<古文書裏打ちの会>

日 時/平成18年4月15日(土)、5月20日(土)、6月17日(土)、7月15日(土)、
8月19日(土)、9月16日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、12月16日(土)、
平成18年1月20日(土)、2月17日(土)、3月17日(土)

場 所/当館研修室

講 師/鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参 加 者/延164人

(内容) 裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵する古文書の裏打ちを行なうワークショップ。本講座は、平成11年度から16年度まで活動を続けてきた「民俗に親しむ会」の参加者の発案によって進められたものであり、博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置付けている。本講座は単年度の活動ではなく、継年的な参加を条件とした。技術指導は、平塚市博物館の「裏打ちの会」で長く活動されてきた3名の方にボランティア講師を依頼している。なお、本年度は新たに第3期会員として2名を町広報により募集した。

(担当) 佐川、近藤



<海の教室>

日 時/①平成18年5月14日(日) ②平成18年9月30日(土) ③平成18年12月3日(日)

場 所/照ヶ崎海岸、郷土資料館研修室

参 加 者/延38人(①14人 ②7人 ③17人)

(内容) 平成12年度から継続している講座で、地域博物館の可能性を求め分野にこだわらずに、生の地域資料を利用しながら新しい学問領域の提示を念頭におくことを目的としている。「海」をメインテーマに、長いスパンで継年的に取り組む。海を知るためには海ばかりをみていたのでは十分でないことを認識しながら、海という素材に対してさまざまな視点からアプローチしようという試みである。本年度は照ヶ崎の生物観察を1回、ビーチコーミングを1回、漂着物を使ったキャンドルづくりを1回、実施した。



①照ヶ崎の生物観察会(場所/照ヶ崎海岸、参加者/14人)

講師:福田良昭氏

②ビーチコーミング(場所/照ヶ崎海岸、参加者/7人)

③漂着物を使ったキャンドルづくり(場所/郷土資料館研修室、参加者/17人)

講師:美甘麻里子氏、美甘祐子氏

(担当) 佐川、北水

■ 刊行物

<図録、冊子>

- ・『Report—大磯町郷土資料館だより』27 A4版 10頁 800部 (平成18年11月刊)
- ・『年報—平成17年度—』 A4版 64頁 500部 (平成18年12月刊)
- ・資料館資料11『ワークショップ“草と木の調査”活動報告書I 県立大磯城山公園の植物』
A4版 64頁 500部 (平成19年3月刊)

<チラシ、パンフレット>

- ・企画展パンフレット『アオバトのふしぎ』 A4版 4頁 6,000部 (平成18年5月刊)
- ・文化財特別公開チラシ『旧高麗寺の神と仏—神仏混淆を体感する—』
A4版 4頁 6,000部 (平成18年10月刊)
- ・常設展リーフレット『浮世絵に見る大磯』 A4版 4頁 2,000部 (平成18年10月刊)
- ・利用案内パンフレット A4版 3ツ折 2,000部 (平成19年2月刊)
- ・特別公開パンフレット『鳴立庵の庵主たち』 A4版 4頁コピー対応 (平成19年3月刊)

<その他>

- ・講座通信『草と木の調査』 A4版 2~10頁 コピー対応 (年間・随時)

■ 調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外 (佐川、北水、近藤)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館 (福島)
- ・神奈川県博物館協会総会、研修会出席/4月21日/神奈川県立歴史博物館 (北水)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」出席/4月25日、5月15日、6月8日、7月4日・21日・26日・27日・28日・31日、9月4日、10月6日、11月6日、12月1日、1月12日、2月6日、3月6日/教育研究所ほか (北水)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導/5月28日、6月13日・27日/大磯町内 (北水)
- ・相模民俗学会出席/5月21日、7月16日、11月19日/神奈川県立歴史博物館ほか (佐川)
- ・大磯町立大磯幼稚園「照ヶ崎海岸磯遊び」指導/6月23日/照ヶ崎海岸 (北水)
- ・大磯港みなとまちづくり協議会「たかしまクルーズ」講義/6月10日/大磯港 (北水)
- ・海老名おはなしたまてばこ講義/6月22日/館内 (佐川)
- ・大磯町立大磯小学校3年総合学習「まちたんけん」指導/6月21日/大磯町内 (北水)
- ・職員採用試験第2次試験試験官/10月12日/大磯町役場 (佐川)
- ・大磯町立国府小学校3年総合学習「郷土」講義/7月11日/国府小学校 (佐川)
- ・平成18年度大磯町教育委員会教育課題研修会講義/8月4日/大磯中学校ほか (佐川、北水)
- ・大磯町立大磯中学校新任教員社会体験研修指導/8月5日・6日・19日/館内 (佐川、北水)
- ・伊勢原市高部屋公民館「民具のあれこれ」講義/8月12日/高部屋公民館 (佐川)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導/8月18日/鷹取山 (北水)
- ・新宿お年寄りの集い講義 (民具回想) /9月1日/新宿福祉館 (佐川)
- ・大磯町立大磯小学校2年生活科学習「町となかよし—大磯の海—」講義/9月20日・22日/照ヶ崎海岸 (北水)
- ・大磯町立国府小学校3年総合学習「郷土」講義/9月22日/国府小学校 (佐川)
- ・大磯町立国府小学校4年社会科「昔のくらしとまちづくり」講義/10月19日/国府小学校 (佐川)
- ・大磯町立大磯小学校2年生活科「町となかよし—王城山方面—」講義/10月27日/王城山 (北水)
- ・大磯町立大磯小学校3年総合学習講義/11月1日/大磯小学校 (北水)
- ・国府中学校1年郷土学習指導/12月8日/当館ほか (佐川、北水)
- ・関東学院大学ゼミナールI指導/12月16日/当館 (佐川)
- ・東海大学博物館実習I講義/2月14日/東海大学 (佐川)
- ・中丸セトバライ試写会映写/3月25日/中丸会館 (佐川)

<施設・展示解説>

- ・東海大学医学部附属大磯病院／4月5日／27人（北水）
- ・まきば幼稚園／4月28日／28人（佐川）
- ・日経カルチャー／5月28日／30人（佐川）
- ・海老名おはなしたまてばこ／6月22日／35人（佐川）
- ・県町村学校教育課長会／7月13日／15人（北水）
- ・日経旅行ツアー／8月24日／30人（近藤）
- ・日経カルチャー／9月7日・9日／31人（近藤）
- ・一番町歴史文会／9月10日／50人（佐川）
- ・小諸市民生委員・児童委員協議会／10月31日／85人（佐川）
- ・银杏会／11月10日／30人（佐川）
- ・関東学院大学文学部比較文化学科ゼミⅠ／12月16日／10人（佐川）
- ・東海村監査委員／2月2日／4人（佐川）
- ・横浜市歴史博物館／2月28日／30人（佐川）
- ・静岡県文化財協会／3月11日／50人（北水）

<執筆>

佐川和裕

- 2006. 11. 「文化財特別公開『旧高麗寺の神と仏—神仏混淆を体感する—』『Report—大磯町郷土資料館だより』27 大磯町郷土資料館
- 12. 「大磯町郷土資料館所蔵の脱穀・選別具について～千歯扱・足踏脱穀機・動力脱穀機・万石～」『年報—平成17年度—』 大磯町郷土資料館
- 2007. 3. 「新聞記事にみる大磯町内の民俗行事(一)」(共著)『大磯町史研究』第14号 大磯町

北水慶一

- 2006. 4. 5. 6. 8. 9. 11/2007. 1. 『草と木の調査だより』No. 06-01～07 大磯町郷土資料館
- 2006. 11. 「企画展『アオバトのふしぎ～神奈川県天然記念物指定10周年記念～』をふりかえり」『Report—大磯町郷土資料館だより』27 大磯町郷土資料館
- 2006. 11. 「2006年のストランディング情報」『Report—大磯町郷土資料館だより』27 大磯町郷土資料館
- 2006. 12. 「ワークショップ「草と木の調査」における県立大磯城山公園の植物名ラベル設置作業実施報告」『年報—平成17年度—』 大磯町郷土資料館
- 2007. 3. 資料館資料11『ワークショップ「草と木の調査」活動報告書Ⅰ 県立大磯城山公園の植物』大磯町郷土資料館

近藤直子

- 2006. 11. 「城山荘（三井大磯別邸）軸組模型と久米権久郎」『Report—大磯町郷土資料館だより』27 大磯町郷土資料館

■ 博物館実習

5大学より6名の学生を受け入れた。実習期間は9月26日から10月7日の間（10月1日・2日を除く）及び7月28日（事前ガイダンス）、10月13日（課題等提出）の計12日とした。実習は例年どおり期間の前後半で大きく実習内容を変えている。前半5日間は考古、民俗、自然各分野の学芸員に就いて資料整理等の作業を行なった。また、梱包、軸物や箱物の資料取り扱いなどの実務作業を行なっている。後半の5日間は常設展示室の1ブロックの展示替えを行なった。展示替えは実習生が主体となり、企画立案から展示完成に至るまでの作業を進めるもので、翌年の実習生による展示替えまで1年間一般の観覧に供するものである。本年度は「浮世絵に見る大磯」をテーマとして、東海道と大磯に残る松並木に焦点を当て、浮世絵に描かれた当時と現在を比較し、景観の変化を紹介した。

<実習生>

鶴井和歌子 (鶴見大学)、鈴木彩乃 (駒澤大学)、大森佐恵子 (駒澤大学)、細川恭葉 (東海大学)
山口雄志 (大正大学)、曾根田貴子 (学習院大学)

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7月28日	金		ガイダンス・館内見学
9月26日	火	講義(資料館の活動概要)	町内施設・史跡等見学
9月27日	水	資料梱包	資料梱包・軸物箱物の取扱い
9月28日	木	民具の取扱い(講義・整理作業)	民具の取扱い(整理作業)
9月29日	金	自然資料整理(ミンクジラの骨の回収)	自然資料整理(城山公園の植生調査)
9月30日	土	ワークショップ(海の教室)参加	展示替実習(展示構想打ち合わせ)
10月1日	日	休 講	
10月2日	月	休 講	
10月3日	火	展示替実習(資料調査・資料選択)	
10月4日	水	展示替実習(資料調査・写真撮影・原稿作成・地図作成)	
10月5日	木	展示替実習(旧展示片付け・写真撮影・原稿作成・地図作成)	
10月6日	金	展示替実習(旧展示片付け・写真撮影・原稿作成・地図作成・展示台作成)	
10月7日	土	展示替実習(展示台作成・パネル作成・列品・照明調整)	
10月13日	火	展示の手直し・課題等提出・総括	



(担当) 北水、佐川、近藤

■博物館資料の収集と利用

〈寄贈資料〉

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2006-0420	H18. 4. 2	アンバリ 他	11	西山敏夫 二宮町山西	1101	H18. 11. 15	電気洗濯機 他	7	石井祥子 大磯町西小磯
0421	H18. 4. 15	トックリ	1	新見紀雄 大磯町東小磯	1201	H18. 12. 1	箆筥	1	杉崎節子 大磯町寺坂
0423	H18. 4. 18	簪(かんざし) 他	4	安部川マリ 大磯町大磯	1202	H18. 12. 5	板戸 他	25	石井祥子 大磯町西小磯
0424	H18. 4. 18	マワイの生地 他	3	安部川征彦 大磯町大磯	1203	H18. 12. 7	メジロの巣 他	3	木村純子 大磯町大磯
0424	H18. 4. 25	携帯電話	1	鈴木一男 大磯町生沢	1204	H18. 12. 8	蕎麦猪口	1	鈴木一男 大磯町生沢
0503	H18. 5. 11	蕎麦うち機 他	2	匿名 平塚市南原	1205	H18. 12. 15	挟み箱 他	一括	西海栄喜繁 大磯町大磯
0504	H18. 5. 14	ボディボード	4	飯田福信 大磯町大磯	2007-0101	H19. 1. 11	箆筥	1	杉崎節子 大磯町寺坂
0505	H18. 5. 14	粽(ちまき)	4	加藤廣美 大磯町国府本郷	0102	H19. 1. 12	衣服 他	一括	西山敏夫 二宮町山西
0507	H18. 5. 30	レコード	64	飯田福信 大磯町大磯	0103	H19. 1. 20	下駄	2	新見紀雄 大磯町東小磯
0602	H18. 6. 15	ソノシート 他	3	飯田福信 大磯町大磯	0104	H19. 1. 30	地図	1	西山敏夫 二宮町山西
0701	H18. 7. 15	矢筒(箆) 他	3	新見紀雄 大磯町東小磯	0201	H19. 2. 2	雛人形	一式	辻田奈緒美 平塚市公所
0801	H18. 8. 8	自然史資料(油彩画)	2	巻島克之 東京都江東区	0203	H19. 2. 13	衣服 他	一括	平田佐千子 平塚市黒部丘
0802	H18. 8. 17	貝標本 他	一括	木村純子 大磯町大磯	0205	H19. 2. 22	櫓(地曳船のトモロ) 他	4	勝又哲生 大磯町大磯
0805	H18. 8. 25	蓑(棕櫚蓑)	1	波多野正之 大磯町西小磯	0206	H19. 2. 23	風呂敷 他	9	西山敏夫 二宮町山西
0901	H18. 9. 1	消防の絆纏 他	10	波多野正之 大磯町西小磯	0207	H19. 2. 25	稲荷講の道具	一式	西山房光・原田好夫 大磯町国府本郷
0903	H18. 9. 15	念仏講の道具	一括	台町念仏校中 大磯町東小磯	0301	H19. 3. 15	足踏ミシン 他	10	中村千代 大磯町高麗
1001	H18. 10. 14	明治期の布 他	7	小島孝蔵 大磯町国府新宿	0302	H19. 3. 22	書籍	11	鈴木光枝 大磯町国府新宿
1002	H18. 10. 31	貝標本	一括	飯田福信 大磯町大磯					

〈採集資料〉

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2006-0806	H18. 8. 31	耐火煉瓦	1	—	1003	H18. 10. 31	貝標本	一括	— 大磯町東小磯

〈移管資料〉

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2006-0803	H18. 8. 25	梳き櫛	1	大磯町立図書館	0902	H18. 9. 3	標示板	1	大磯町立図書館
0804	H18. 8. 25	古銭	93	大磯町立図書館	2007-0202	H19. 2. 2	魚類剥製	7	大磯町 学校教育課

〈寄託資料〉

(敬称略、寄託期間：H18. 4. 1～H20. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2006-0401	H18. 4. 1	高札	3	坂井保治 大磯町黒岩	0413	H18. 4. 1	書籍 他	一括	飯島容子 横浜市中区
0402	H18. 4. 1	一本松稲荷講中資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯	0414	H18. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
0403	H18. 4. 1	菊池重三郎関係資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0415	H18. 4. 1	書幅	1	二宮勝男 平塚市下吉沢
0404	H18. 4. 1	書(断片)	一括	加藤文八 平塚市諏訪町	0416	H18. 4. 1	随神 他	3	南本町区
0405	H18. 4. 1	古文書	一括	後藤 勲 大磯町月京	0417	H18. 4. 1	稲荷講	一括	戸塚 浩 大磯町西小磯
0406	H18. 4. 1	書籍	2	山川 正 大磯町国府新宿	0418	H18. 4. 1	古文書	一括	小見滋夫 大磯町西小磯
0407	H18. 4. 1	七夕資料 他	一括	西小磯西子ども会	0422	H18. 4. 18	クワカスカ TM デモン看板	1	添田光雄 大磯町国本郷
0408	H18. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0501	H18. 5. 10	古文書	一括	近藤敬一郎 東京都新宿区
0409	H18. 4. 1	古文書 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0502	H18. 5. 10	雛人形	一式	田川順三 横浜市緑区
0410	H18. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区	0506	H18. 5. 30	木造仁王像	一括	慶覚院 大磯町高麗
0411	H18. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区	0702	H18. 7. 20	木造神像 他	12	高来神社 大磯町高麗
0412	H18. 4. 1	獅子頭	2 (一対)	裡道区	2007-0204	H19. 2. 15	島崎藤村写真 (追加)	5	菊池なつみ 大磯町大磯

〈購入資料〉

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2006-0601	H18. 6. 9	絵はがき 他	一括	すりもの堂書店 東京都町田市

〈資料の特別利用〉

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
館内展示	—	撮影 ／個人的記念	H18. 4. 22	個人	絵はがき	3	撮影 ／テレビ放映	H18. 10. 17	(株)ゼロス
図書	4	複写 ／研究発表	H18. 5. 2	個人	館内展示	—	撮影 ／参考資料	H18. 10. 21	個人
考古資料	10	複写再使用 ／研究発表	H18. 5. 7	個人	マイワイ 他	12	撮影 ／刊行物掲載	H18. 10. 26	神奈川県立歴史博物館
館外観・内観	—	撮影 ／遠足記録	H18. 5. 12	波の子造形研究所	館内展示	—	撮影 ／研究発表	H18. 10. 26	個人
館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H18. 5. 13	個人	鳴立沢の標石	1	撮影 ／参考資料	H18. 10. 26	個人
館内展示	—	撮影 ／研究資料	H18. 5. 18	個人	絵はがき 他	50	撮影 ／展示	H18. 10. 27	大磯町企画室
マツリブネ	—	撮影 ／参考資料	H18. 5. 19	個人	島崎藤村資料	22	撮影 ／研究発表	H18. 11. 5	個人
館外観・内観	—	撮影 ／刊行物掲載	H18. 5. 23	(株)交通新聞社	企画展示(仏像)	6	撮影 ／研究資料	H18. 11. 12	個人
館内展示	—	撮影 ／個人的記念	H18. 5. 23	個人	館内展示	—	撮影 ／参考資料	H18. 12. 15	個人
館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H18. 6. 2	個人	絵はがき	2	撮影 ／刊行物掲載	H18. 12. 24	か'イト'ボランティア協会
七夕資料	16	撮影 ／刊行物掲載	H18. 6. 14	平塚市博物館	絵はがき	1	撮影 ／刊行物掲載	H19. 1. 4	か'イト'ボランティア協会
ホールنگデータ	4	閲覧・複写 ／参考資料	H18. 6. 25	個人	館内展示	—	撮影 ／個人的記念	H19. 1. 16	個人
ウミガメ写真	6	複写 ／刊行物掲載	H18. 7. 16	個人	絵はがき 他	一括	撮影 ／テレビ放映	H19. 1. 17	テレビ神奈川
図書	1	閲覧 ／参考資料	H18. 7. 25	個人	館内展示	—	撮影 ／参考資料	H19. 1. 21	個人
アオバト剥製	1	撮影 ／研究資料	H18. 7. 26	個人	企画展示(仏像)	—	撮影 ／参考資料	H19. 1. 28	個人
館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H18. 7. 30	個人	企画展示(仏像)	—	撮影 ／個人的記念	H19. 1. 30	個人
七夕の竹神輿	1	模写 ／作品発表	H18. 8. 6	個人	考古資料	4箱	撮影 ／刊行物掲載	H19. 1. 30	個人
館内展示	—	撮影 ／夏休宿題	H18. 8. 9	個人	企画展示	—	撮影 ／個人的趣味	H19. 2. 3	個人
鳴立沢の標石	1	撮影 ／刊行物掲載	H18. 8. 13	個人	常設展示	—	撮影 ／刊行物掲載	H19. 2. 3	(株)樫出版社
館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H18. 8. 24	個人	島崎藤村資料	10	撮影 ／刊行物掲載	H19. 2. 16	(株)エイ出版社
館内展示	—	撮影 ／個人的記念	H18. 8. 31	個人	館内展示	—	撮影・録音 ／番組ホームページ掲載	H19. 3. 1	(株)シヤハンソエエムネットワーク
写真	2	撮影 ／刊行物掲載	H18. 9. 8	個人	館内展示	—	撮影 ／参考資料	H19. 3. 2	個人
マツリブネ	—	撮影 ／個人的趣味	H18. 9. 13	個人	館外観・内観	—	撮影 ／参考資料	H19. 3. 4	個人
館内諸施設	—	撮影 ／研究発表	H18. 9. 26	個人	オサルサン	1	撮影 ／研究資料	H19. 3. 9	個人
館内諸施設	—	撮影 ／研究発表	H18. 9. 26	個人	館内展示	—	撮影 ／個人的記念	H19. 3. 10	個人
館内展示	—	撮影 ／研究資料	H18. 10. 17	個人	企画展示	—	撮影 ／参考資料	H19. 3. 17	個人

〈資料の館外貸出〉

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
木造神像	11軀	展示	(H18. 2. 7) ~ 5. 18	神奈川県立歴史博物館	土質標本 他	4	理科授業	H18. 9. 15 ~ 10. 4	大磯町立大磯小学校
考古資料	一括	町史編さん	H18. 4. 28 ~ 5. 11	大磯町立図書館	西小磯七夕資料	一括	展示	H18. 9. 26 ~ 11. 16	平塚市博物館
図書	1	参考資料	H18. 5. 18 ~ 6. 6	個人	考古資料	1	展示	H18. 10. 4 ~ 10. 17	県教育局生涯学習文化財課
考古資料	40	町史編さん	H18. 5. 30 ~ 6. 13	大磯町立図書館	ビデオ(祭礼)	1	放映	H18. 11. 10 ~ 11. 17	大磯町企画室
写真(祭礼)	4	展示、刊行物掲載	H18. 6. 14 ~ 7. 5	平塚市博物館	考古資料	6	保存処理	H18. 11. 17 ~ H19. 3. 23	(株)東都文化財保存研究所
写真(絵はがき)	6	刊行物掲載	H18. 6. 20 ~ 8. 10	(株)樫出版社	写真(歴史)	6	町史編さん	H18. 11. 28 ~ 11. 29	大磯町立図書館
考古資料	11箱	町史編さん	H18. 6. 23 ~ 7. 7	大磯町立図書館	図書	3	参考資料	H18. 12. 27 ~ 12. 27	個人
考古資料	8	町史編さん	H18. 7. 9 ~ 7. 23	大磯町立図書館	写真(祭礼)	1	刊行物掲載	H19. 1. 17 ~ 3. 31	近江八幡市史編纂室
写真(祭礼)	6	刊行物掲載	H18. 7. 19 ~ 7. 31	湘南リビング新聞社	写真(祭礼)	2	刊行物掲載	H19. 1. 18 ~ 2. 6	(株)エンサイクロメディア
考古資料	1	保存処理	H18. 7. 25 ~ H19. 3. 23	(株)東都文化財保存研究所	写真	3	刊行物掲載	H19. 1. 23 ~ 2. 9	神奈川県博物館協会
考古資料	一括	町史編さん	H18. 7. 28 ~ 8. 11	大磯町立図書館	マイワイ	10	展示	H19. 1. 25 ~ 3. 16	神奈川県立歴史博物館
写真(考古)	1	展示、刊行物掲載	H18. 7. 28 ~ 8. 8	県立埋蔵文化財センター	写真(彫刻)	2	刊行物掲載	H19. 1. 30 ~ 2. 18	文藝軌道
考古資料	7箱	町史編さん	H17. 8. 23 ~ 9. 6	大磯町立図書館	写真(人物)	1	展示	H19. 2. 5 ~ 3. 20	野田宇太郎文学資料館
自然史資料	2	展示	H18. 8. 11 ~ 12. 28	大磯町総務部財政課	図書	4	参考資料	H19. 2. 9 ~ 3. 1	(株)アズ計画研究所
写真(歴史)	3	案内板掲載	H18. 8. 25 ~ 8. 30	大磯城山公園	伊藤博文像 他	一括	祭礼	H19. 3. 3 ~ 3. 4	西小磯西区
写真(絵はがき)	1	刊行物掲載	H18. 9. 8 ~ 9. 12	(財)日本緑化センター					

〈備品の館外貸出〉

(敬称略)

備品名	点数	利用目的	期 間	申請者	備品名	点数	利用目的	期 間	申請者
スチール椅子	25	コンサート	H18. 5. 23 ~ 5. 23	大磯城山公園	マルチプロジェクター	1	会議	H18. 9. 22 ~ 9. 26	大磯町まちづくり課
マルチプロジェクター	1	会議	H18. 7. 21 ~ 7. 25	大磯町まちづくり課	マルチプロジェクター	1	研修会	H18. 9. 26 ~ 9. 28	大磯町総務部総務課
マルチプロジェクター他	2	研究会	H18. 8. 2 ~ 8. 2	大磯町学校教育課	マルチプロジェクター他	2	研修会	H18. 9. 29 ~ 10. 6	大磯町総務部総務課
マルチプロジェクター	1	会議	H18. 8. 18 ~ 8. 22	大磯町まちづくり課	マルチプロジェクター他	2	研修会	H19. 1. 30 ~ 2. 1	大磯町総務部総務課
マルチプロジェクター	1	研修会	H18. 8. 30 ~ 8. 31	大磯町総務部総務課	マルチプロジェクター他	2	講習会	H19. 2. 21 ~ 2. 23	大磯町経済観光課
マルチプロジェクター	1	会議	H18. 9. 8 ~ 9. 12	大磯町まちづくり課	マルチプロジェクター	1	会議	H19. 3. 30 ~ 4. 3	大磯町まちづくり課

〈寄贈図書一覧〉

出版地	寄贈者	書名	発行年月
大磯町	大磯鳴立庵俳句会 摘み草の会	『合同句集 鳴立澤(第三集)』	2006/08
		『大磯の寺と神社』	—
		『ガイドブックシリーズ1 大磯の道祖神(生沢・寺坂地区)』	—
		『ガイドブックシリーズ2 大磯の道祖神(大磯地区)』	—
寒川町	寒川文書館	『寒川町史研究 第20号』	2007/03
		『寒川文書館 開館記念誌』	2007/03
	寒川町教育委員会	『寒川文書館だより Vol.1』	2007/03
		『寒川町埋蔵文化財調査報告書第2集 倉見才戸遺跡 一第7次調査ほか 発掘調査報告書一』	2005/09
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	『寒川町埋蔵文化財調査報告書第3集 倉見才戸遺跡 一第9次調査ほか 発掘調査報告書一』	2006/12
		『神奈川県高座郡寒川町 岡田西河内遺跡 一寒川駅北口地区土地区画 整理事業に先立つ埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2005/03
		『文化資料館調査研究報告 14』	2006/03
		『茅ヶ崎 自然の新聞 第272～274号』	2006
二宮町	戦時下の二宮を記録する会 徳富蘇峰記念館	戦時下の二宮を記録する会会報誌『ひとしづく』第一号	2007/01
		『展示目録一(24) 書簡と資料からみた大東亜戦争』	2007/01
秦野市	丹沢自然保護協会 秦野市教育委員会 秦野市立桜土手古墳展示館	『丹沢だより No.429～439』	2006-2007
		『秦野市史研究 第25号』	2006/03
		企画展『西湘の横穴墓』図録	1995/01
		企画展『厚手式土器の故郷』図録	1995/10
		企画展『弥生墓制の系譜』図録	1998/12
		『秦野市立 桜土手古墳展示館だより vol.20～23』	2002-2005
		かながわの遺跡展2005『武家の古都・鎌倉 ～発掘された中世の世界～』 図録	2005/09
平塚市	神奈川県環境科学センター 神奈川県教育委員会教育局中教育事務所 湘南農業協同組合 平塚市教育委員会 平塚市中央図書館 平塚市博物館 平塚市美術館	『秦野市立桜土手古墳展示館 研究紀要 第7号』	2006/03
		『諏訪原遺跡 秦野市今泉諏訪原土地区画整理事業に伴う調査報告』	2006/03
		『かながわ 田んぼの生きものウォッチング』	2006/08
		『酒匂川水系の水生動物 ～里地・里山の生きものたち～』	2006/09
		『社会教育資料2006 中地区の社会教育』	2006/08
		『湘南の大地』合併40周年記念誌	2006/03
		平成18年度ふるさと歴史シンポジウム『復元！古代都市平塚～相模国府を 探る～』プログラム	2006/11
		平成18年度ふるさと歴史シンポジウム『復元！古代都市平塚～相模国府を 探る～』記録集	2006/11
		平成19年度ふるさと歴史シンポジウム『復元！古代都市平塚～相模国府を 探る～』記録集(DVD)	2006/11
		平成18年度ふるさと歴史シンポジウム『復元！古代都市平塚～相模国府を 探る～』報告書	2006/11
		『地方行政資料目録 平成17年度』	2006/06
		『ガイドブック23 銀河系の天体たち』	2006/03
		『市民が綴る郷土の記録 I 戦禍に喘いだ達上ヶ丘の学舎 一神奈川県立 平塚農業学校第三七・三八回生の記録一』	2006/03
		特別展『里に降りた星たち』図録	2006/10
		特別展『幕末の村おこし 一二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法一』図録	2007/03
藤沢市	藤沢市教育文化センター 藤沢市文書館	『平塚市美術館所蔵 原精一寄贈資料整理報告書2003』	—
		『平塚市美術館所蔵 鳥海青児作品総目録』	2005/02
		『平成16年度(2004.4～2005.3) 平塚市美術館年報』	2005/04
		『生誕100年目の発見 湘南の洋画家・大貫松三展報告書 ～調査と展示の 記録～』	2006/03
藤沢市	藤沢市教育文化センター 藤沢市文書館	『藤沢の自然6 身近な川と水辺』	2007/03
		『ニュースは語る 二〇世紀の藤沢1956～2000 (続) 藤沢市史 別編3』	2006/03
		『芥川龍之介自筆資料目録 (附・葛巻家資料目録稿)』	2006/03
		『藤沢市文書館紀要 第二十八号』	2006/03
		『藤沢市史料集(三十) 東海道藤沢宿役人史料(1)』	2006/03
		『藤沢市史研究 第39号』	2006/03
小田原市	小田原市教育委員会	『小田原市文化財調査報告書 第105集 小田原城三の丸 大久保雅楽介邸 跡 第X地点』	2003/03
		『神奈川県小田原市 御組長屋遺跡 第V地点』	2005/03
		『平成17年度 小田原市遺跡調査発表会 発表要旨』	2005/11
		『小田原市文化財調査報告書 第135集 平成15年度 試掘調査(I)』	2006/03
		『小田原市文化財調査報告書 第136集 千代北町遺跡 第X地点』	2006/03

		『小田原市文化財調査報告書 第137集 千代吉添遺跡 第Ⅰ～Ⅳ地点』	2006/03
		シンポジウム『よみがえる馬出門 ～小田原城の整備と活用を考える～』記録集	2006/03
		『小田原の遺跡探訪シリーズ1 羽根尾遺跡群 ～羽根尾貝塚・羽根尾横穴墓群と周辺遺跡～』	2006/03
小田原市郷土文化館		特別展『縄文の技と美 ～羽根尾貝塚にみる人々の生活と文化～』図録	2004/10
		特別展『茶人の書 ～松永耳庵と近代の数寄者たち～』図録	2005/11
		『小田原市郷土文化館研究報告 No.41』	2005/03
		『小田原市郷土文化館研究報告 No.42』	2006/03
小田原城天守閣		特別展『宝永天守再興』図録	2006/10
神奈川県立 生命の星・地球博物館		『神奈川自然史資料 第27号』	2006/03
		『身近な菌類観察』	2006/07
		『神奈川県レッドデータ 生物調査報告書2006』	2006/07
		『神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第11号(2005年度)』	2006/10
		『自然科学のとびら 45～47号』	2006
報徳博物館		『岡本秋暉展 ～絢爛たる花鳥画の世界～』図録	2006/10
箱根町	箱根町立郷土資料館	町制50周年記念事業『HAKONE1956・・・50年前の箱根』企画展解説書	2006/09
山北町	山北町教育委員会	『足柄乃文化 第33号』	2006/03
横浜市	岩崎博物館(ゲーテ座記念)	『岩崎ミュージアムプレス 第99・100号』	2007
	馬の博物館	『馬の博物館 研究紀要 第16号』	2005/12
		特別展『馬と牛 一ひとつの蹄とふたつの蹄』図録	2006/04
神奈川近代文学館		『神奈川近代文学館 年報 2005年(平成17年)度』	2006/06
		『神奈川近代文学館 第92～95号』	2006-2007
神奈川県教育委員会		『埋蔵文化財行政研究会 研究発表論集 第2集 「地方分権と埋蔵文化財の保護」』	2001/02
		『埋蔵文化財行政研究会 研究発表論集 第3集 「埋蔵文化財調査資格制度1」』	2001/09
		『埋蔵文化財行政研究会 研究発表論集 第5集 「市町村と埋蔵文化財」』	2002/05
		『埋蔵文化財行政研究会 研究発表論集 第6集 「遺跡の保存と活用」』	2003/05
		平成15年度第2回埋蔵文化財行政研究会発表論旨『市町村と埋蔵文化財 その3Ⅱ 一出土品の区分に関する基準と実施状況2ー』	2003/09
		『神奈川県埋蔵文化財調査報告48』	2005/12
		『神奈川県埋蔵文化財調査報告49』	2006/03
神奈川県町村会		『かながわ町村会報 第118・119号』	2006
神奈川県博物館協会		『神奈川県博物館協会会報 第77号』	2006/03
		『神奈川県博物館協会会報 第78号』	2006/12
		『神奈川県博物館協会加盟館園職員名簿 2006』	2006/09
		『NETWORK 第27号』	2006/09
		『神奈川県博物館協会50年誌』	2007/01
神奈川県民俗芸能保存協会		『かながわの民俗芸能 第70号』	2006/03
神奈川県立公文書館		『平成17年度 神奈川県立公文書館年報』	2006/06
		『神奈川県立公文書館だより 第15、16号』	2006
神奈川県立図書館		『郷土神奈川 第45号』	2007/02
神奈川県立歴史博物館		『浮世絵版画と「名所」に関する研究 ～東海道を中心に～』	2006/03
		『神奈川県立博物館研究報告 ～人文科学～ 第32号』	2006/03
		『神奈川県立歴史博物館総合研究報告 総合研究～関東地域における民具の流通～』	2006/03
		『神奈川県民俗調査報告23 分類神奈川県方言辞典(Ⅲ) ～社会生活・経済生活・人の一生・儀礼と信仰～』	2006/03
		特別展『富士山大噴火～1707年宝永の「砂降り」と神奈川～』図録	2006/10
		『神奈川県立歴史博物館年報 平成17年度』	2006/11
		特別展『大漁の証 万祝(まいわい)』図録	2007/02
		『神奈川県立歴史博物館だより 171～173号』	2006-2007
(財)かながわ考古学財団		『かながわ考古学財団調査報告198 高尾横穴墓群 矢ノ津坂遺跡』	2006/09
		『かながわ考古学財団調査報告199 高田南原遺跡 第Ⅱ地点』	2006/09
		『かながわ考古学財団調査報告200 森戸やぐら 平成17年度鎌倉市内急傾斜地(十二所字佐小路地区)崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2006/12
		『かながわ考古学財団調査報告201 小田原城跡八幡山遺構群Ⅲ(第3次調査) 県立小田原高等学校校舎建替工事に伴う発掘調査』	2006/12
		『かながわ考古学財団調査報告202 御幣山遺跡』	2006/11
		『かながわ考古学財団調査報告203 日向やぐら群 国有地崩落防止工事に伴う発掘調査』	2006/12
		『かながわ考古学財団調査報告204 会下山西やぐら群Ⅱ 平成17年度鎌倉市内急傾斜地(二階堂会下地区)崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2006/12
		『かながわ考古学財団調査報告206 六浦大道遺跡Ⅱ 県営大道団地改築事業に伴う発掘調査』	2006/12
		『かながわ考古学財団調査報告207 宅間谷東やぐら群 平成15・16・17年度鎌倉市内急傾斜地(浄明寺宅間C地区)崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2007/03

		『かながわ考古学財団調査報告209 極楽寺地蔵堂脇やぐら 平成18年度 鎌倉市内急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告212 月輪寺やぐら群 平成17年度 鎌倉市内急傾斜地(十二所馬場地区)崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2007/03
		『研究紀要12 かながわの考古学』	2007/03
		『年報13 平成17年度』	2007/03
三溪園		企画展『三溪園をえがく』図録	2006/08
寺家ふるさと村「四季の家」		『はなあふ通信 140～142号』	2006
そごう美術館		『そごう美術館+横浜美術館 夏休みスペシャル 夏休みだ! 美術館に行こう! 絵画たんけん 事業報告書』	2006
玉川文化財研究所		『神奈川県伊勢原市 石田・峯遺跡第IV地点 発掘調査報告書』	2005/03
		『神奈川県藤沢市 鶴沼横須賀遺跡 発掘調査報告書』	2005/03
		『神奈川県伊勢原市 東大竹・下谷戸(八幡台)遺跡の調査』	2005/07
		『神奈川県藤沢市 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書 ～下土棚諏訪ノ棚地区3区～』	2006/02
		『横浜市港区 下組東貝塚』	2006/02
		『神奈川県藤沢市 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書 ～下土棚諏訪ノ棚地区 1区・2区～』	2006/03
		『横浜市港北区 新羽南遺跡・新羽南古墳 発掘調査報告書』	2006/06
ニュースパーク(日本新聞博物館)		『ニュースパークたより/NIEニュース No.29、30/第43、44号』	2006
横浜市教育委員会		『横浜の文化財 ～横浜市文化財総合調査概報(十八)～』	2006/03
		『平成16年度 文化財年報(埋蔵文化財 その23)』	2006/03
(財)横浜市ふるさと歴史財団		『財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 年報 平成17年度版』	2006/07
横浜市歴史博物館		『横浜市歴史博物館資料目録 第14集』	2006/01
		『横浜市歴史博物館紀要 第9号』	2005/03
		『横浜市歴史博物館調査報告 第1号』	2005/03
		『横浜市歴史博物館調査報告 第2号』	2006/03
		企画展『幕末動乱を生きた武士 ～武州金沢藩士・萩原唯衛門則嘉の生涯～』 図録	2005/04
		収蔵資料展『～浮世絵・絵図でめぐる～ かながわの名所』図録	2005/05
		企画展『おなかがすいた はらぺこだっ! ～縄文時代のごはん～』図録	2005/07
		特別展『よこはまの浦島太郎』図録	2005/10
		企画展『諸国五十戸』木簡と横浜 ～大宝律令以前の支配システムを探る～』 図録	2006/01
		企画展『弥生の人びとの眠る場所 ～方形周溝墓と環濠集落～』図録	2006/04
横浜都市発展記念館		『横浜都市発展記念館紀要 第2号』	2006/03
		『ハマ発 Newsletter 第6～8号』	2006-2007
横浜マリタイムミュージアム		企画展『客船クイーンエリザベス2と横浜港の30年』図録	2006/09
川崎市	川崎市市民ミュージアム	『川崎市市民ミュージアム紀要 第18集』	2006/03
		『museum news Vol.73、74、75』	2006-2007
	川崎市立日本民家園	『日本民家園叢書6 日本民家園草創期の記憶 ～旧三澤家住宅・旧工藤家住宅～』	2006/03
		『日本民家園叢書7 日本民家園草創期の記憶2 ～沖永良部島の高倉・蚕影山祠堂・旧山下家住宅～』	2006/12
		『日本民家園収蔵品目録6 旧広瀬家住宅』	2006/07
		『日本民家園収蔵品目録7 旧菅原家住宅』	2007/01
		『日本民家園だより vol.61～63』	2006-2007
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	『鎌倉の埋蔵文化財9 平成15～17年度発掘調査の概要』	2006/02
		『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書22 平成17年度発掘調査報告(第1分冊)』	2006/03
		『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書22 平成17年度発掘調査報告(第2分冊)』	2006/03
	鎌倉文化研究会	『鎌倉 第百一号』	2006/06
		『鎌倉 第百二号』	2006/12
	鶴岡八幡宮社務所	社報『鶴岡』 第103号	2006/06
横須賀市	横須賀市教育委員会事務局 生涯学習部美術館開設準備室	『横須賀美術館準備ニュース vol.3、4』	2006
	横須賀市自然・人文博物館	『横須賀市博物館報 第52号』	2005/12
		『横須賀市博物館 研究報告(自然科学) 第53号』	2006/03
		『横須賀市博物館資料集 第30号』	2006/03
三浦市	三浦市教育委員会	『三浦市埋蔵文化財調査報告書 第12集 平成13年度遺跡試掘調査』	2004/03
		『三浦市埋蔵文化財調査報告書 第13集 赤坂遺跡』	2004/03
		『三浦市埋蔵文化財調査報告書 第14集 平成14年度遺跡試掘調査』	2005/03
		『三浦市埋蔵文化財調査報告書 第15集 屋志倉遺跡』	2005/03
		平成15年度三浦市文化財展『絵葉書で綴る 三崎のいま、むかし』図録	2003/12
		平成16年度三浦市文化財展『縄文時代の油壺遺跡』図録	2005/01
葉山町	葉山しおさい博物館	『潮騒ガイドブック⑩ 葉山・芝崎ナチュラルリザーブ 海洋生物図鑑(3)』	2006/03
厚木市	厚木市教育委員会	『平成16年度 厚木市文化財年報 第4号』	2006/03
	神奈川県自然環境保全センター	『神奈川県自然環境保全センター報告 第3号』	2006/03
	グリーンタフ事務局	『自然観察 296、297、300、300号記念号』	2006
	西相文化財研究所	『神奈川県厚木市 七沢・実蔭原古墳群』	2002/11

		『神奈川県厚木市 中依知上原遺跡』	2004/12
		『神奈川県藤沢市 西富貝塚 ～藤沢市西富字光徳422番1における住宅建設にともなう発掘調査～』	2005/12
		『神奈川県愛甲郡愛川町 神明前遺跡 ～愛川町中津字神明前5955番地における住宅建設にともなう発掘調査～』	2006/02
綾瀬市	綾瀬市教育委員会	『市史だより 第29、30号』	2006-2007
海老名市	海老名市温故館 海老名市教育委員会	特別展『1700年の時を経て、今ここに ～国指定史跡 秋葉山古墳群～』図録	2005/10
		『ウォーキングガイドブック 海老名市文化財散策 自然と歴史のさんぽみち』	2006/08
		『秋葉山古墳群第3・4号墳発掘調査報告書 一第10～12次調査一』	2004/03
		『国指定史跡 秋葉山古墳群 ～弥生の墓から古墳へ～』	2006/03
	(有)ブラフマン	『神奈川県海老名市 門沢橋跡掘遺跡 一市道10号線付け替え工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2006/12
		『神奈川県海老名市 国分尼寺北方遺跡 第29次調査 一海老名市上今泉三丁目1054番1における埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2007/02
相模原市	相模原市教育委員会	『相模原市埋蔵文化財調査報告32 鶴野森柏木北遺跡 (仮称)大野中公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』	2005/03
		『相模原市埋蔵文化財調査報告33 田名向原遺跡Ⅲ 史跡田名向原遺跡公園整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』	2006/03
	相模原市立博物館	『平成17年 相模原市文化財年報』	2006/03
		『境川流域民俗調査報告書』	2006/03
		特別展『相模川・桂川流域の縄文時代 一川に結ばれた先人の暮らし一』図録	2006/10
		『相模原市立博物館News Vol.42～45』	2006-2007
座間市	座間市教育委員会	『座間むかしむかし 第二十八集』	2006/03
		『座間市重要文化財案内』	2006/03
城山町	城山町教育委員会	『城山町 町制施行五十周年記念 町史の窓(復刻版)』	2006/03
茨城県	東町立歴史民俗資料館 稲敷市立歴史民俗資料館 上高津貝塚ふるさと歴史の広場	企画展『東町仏教遺宝展 御仏のかたち』図録	2004/11
		『年賀切手と年賀状 ～明治から平成へ、うつろいゆく時の世相史～展』図録	2006/11
		『茨城県土浦市 神明遺跡(第5次調査)』	2005/03
		『茨城県土浦市 弁才天遺跡 北西原遺跡(第5次調査)』	2006/03
		『茨城県土浦市 龍善寺遺跡』	2006/07
		『国指定史跡 上高津貝塚C地点』	2006/03
		『土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場 年報 第12号 2005(平成17)年度』	2007/01
		『山川古墳群(第3次調査)土浦市総合運動公園建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第10集』	2007/01
	小美玉市史料館	平成18年度参考展示『縄文の闇、弥生の光』展示解説書	2007/01
栃木県	小山市立博物館 (株)日本竊業史研究所	企画展『外国からやってきた生きものたち ～生き物のふるさと調べ～』図録	2006/09
		『神奈川県伊勢原市 稲荷久保遺跡第Ⅲ地点』	2005/03
		『神奈川県伊勢原市 稲荷久保遺跡第Ⅲ地点 ～3・4次調査～』	2006/03
群馬県	渋川市教育委員会	『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書第7集 水泉寺地区遺跡群』	1990/03
		『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書第44集 北橋村村内遺跡ⅩⅢ』	2006/02
	渋川市北橋歴史資料館	企画展示会『新渋川市の文化財 指定文化財166件を紹介』図録	2006/09
埼玉県	春日部市教育委員会文化財保護課	『春日部市埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集 花積台耕地遺跡7次地点、慈恩寺原南遺跡4・5次地点、貝の内遺跡11・19次地点、小洲山下北遺跡8次地点、浜川戸遺跡29次地点』	2006/03
		『庄和町遺跡調査会報告書第12集 吉岡遺跡 第2～5次』	2005/09
		『庄和町文化財調査報告第15集 権現山遺跡 第1次』	2005/09
		『春日部市遺跡調査会報告書第17集 慈恩寺原北遺跡2次調査地点 一学校法人開智学園校舎建設に伴う埋蔵文化財調査報告書一』	2006/09
		『春日部市遺跡調査会報告書第18集 小洲山下遺跡2次調査地点 一共同住宅建築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2006/09
		『春日部市遺跡調査会報告書第19集 小洲山下遺跡3次調査地点 一宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2006/12
	高麗神社社務所	『高麗神社・高麗家文書目録』	2006/11
	さいたま川の博物館	『かわはく No.25～27』	2006
	税務大学校 税務情報センター	『租税史料目録 昭和編(Ⅲ) <昭和21年～昭和30年>』	2006/04
		『租税史料叢書第一号 地租関係史料集Ⅰ ～地租条例から宅地地価修正まで～』	2006/07
		『租税史料館報 平成17年度版』	2006/07
		特別展示『所得税の導入と調査委員制度』図録	2007/01
	鶴ヶ島市遺跡調査会	『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告第59集 俗称旗塚古墳泉橋遺跡第2次発掘調査報告書』	2006/09
		『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告第60集 北権現遺跡第3次調査発掘調査報告書』	2007/03
	三芳町教育委員会	『三芳町埋蔵文化財報告32 町内遺跡発掘調査報告書Ⅵ』	2006/03
	三芳町立歴史民俗資料館	特別展『柳澤吉保ゆかりの書画 ～多福寺の什宝～』図録	2006/10
	富士見市立難波田城資料館	『富士見市立難波田城資料館収蔵資料集Ⅰ 富士見市の板碑 富士見市史資料編3』	2005/03
		『富士見市立資料館要覧 2005』	2005/12

	企画展『難波田城のすべて』図録	2006/03
立正大学博物館	『立正大学博物館年報2 平成15(2003)年度』	2004/03
	『立正大学博物館年報3 平成16(2004)年度』	2005/03
	『立正大学博物館年報4 平成17(2005)年度』	2006/03
	特別企画展『江戸狩野とその世界 ～作品と墓所～』図録	2006/10
	『立正大学博物館館報 万吉だより(MAGECHI NEWS) 第3～5号』	2004-2006
千葉県		
伊能忠敬記念館	『伊能忠敬関係資料目録/下図』	2005/03
	『伊能忠敬記念館年報 第7号 平成16年度』	2006/03
国立歴史民俗博物館	『日本の神々と祭り ―神社とは何か?―』図録	2006/03
	特別企画展『佐倉連隊にみる戦争の時代』図録	2006/07
	企画展示『歴史のなかの鉄砲伝来～種子島から戊辰戦争まで～』図録	2006/10
	国立歴史民俗博物館資料図録4『瓦コレクション』	2006/02
袖ヶ浦市郷土博物館	企画展『袖ヶ浦遺産Ⅱ 生きもの 大図鑑』	2006/04
	企画展『村のお医者さん ～小櫃村・駒医院の軌跡～』図録	2006/10
	『そではく通信 22号』	2006/05
市立市川考古博物館	『市立市川考古博物館館報 第33号』	2006/03
館山市立博物館	『ミュージアム発見伝 No.76、77』	2005-2006
千葉市立加曾利貝塚博物館	『貝塚博物館紀要 第34号』	2007/03
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	『飛ノ台史跡公園博物館 紀要 第3号』	2006/03
	『縄文多空間スペース とびのだい vol.18～20』	2005-2006
松戸市立博物館	『松戸市立博物館年報 第13号 平成17年度(2005)』	2006/08
	『松戸市史考古資料集1 大谷遺跡の土師器と須恵器』	2006/10
	企画展『戦国の城をさぐる』図録	2006/10
	『神奈川県相模原市 上鶴間下森上遺跡』	2006/03
山武考古学研究所		
東京都		
板橋区教育委員会	『第4回 櫻井賞受賞作文集』	2006/01
	『歴史民俗研究 第3輯 ～櫻井賞受賞論集～』	2006/03
板橋区立郷土資料館	特別展『江戸の砲術 ―砲術書から見たその歴史―』図録	2007/01
青梅市教育委員会	『東京都青梅市 城の腰遺跡 ～第10次発掘調査報告書～』	2005/07
	『平成16年度(2004) 青梅市埋蔵文化財調査概要』	2006/02
	『東京都青梅市 霞台遺跡 ～第30次発掘調査報告書～』	2006/03
大田区立郷土博物館	『大田区立郷土博物館紀要 第16号 平成17(2005)年度』	2006/03
	『博物館ノート No.145～150』	2006/03
	特別展『横穴墓のなぞ』図録	2006/10
お札と切手の博物館	『お札と切手の博物館ニュース Vol.21、22』	2006-2007
お茶の水女子大学博物館学研究室	『鹿児島県指宿市 敷領遺跡の調査』	2006/06
	『時遊館COCCOはしまれ開館10周年記念フォーラム 火山で埋もれた都市とムライタリア・日本・インドネシア』フォーラム資料	2006/11
	『お茶の水女子大学博物館 実習報告 第22号』	2007/02
外務省外交史料館	『外交史料館報 第20号』	2006/10
加藤建築(株)埋蔵文化財調査部	『東京都板橋区 成増一丁目遺跡D地点 ―成増一丁目プロジェクトに伴う発掘調査―』	2006/11
くにたち郷土文化館	『くにたち郷土文化館年報 第8号 平成15年度』	2005/07
	『くにたち郷土文化館年報 第9号 平成16・17年度』	2006/10
	企画展『幕末から自由の権へ ～本田家の人々が見た時代～』図録	2006/10
(株)黒田陶苑	『近世の茶碗(十四)』	2006/07
駒澤大学禅文化歴史博物館	『前田英昭コレクション 国会・昔と今 ～政治をもっと身近なものに～』図録	2005/10
	『駒大史ブックレット5 「図書館誌」にみる駒大図書館史(その1)』	2006/03
	館蔵資料展2006『禅のかたち・禅のこころ ～中世から近世へ～』図録	2006/05
	考古資料展『日本・中国の古瓦』図録	2006/10
次大夫堀公園民家園	企画展『古民家と養蚕』図録	2006/11
品川区立品川歴史館	『品川歴史館所蔵浮世絵図録Ⅱ 浮世絵 品川めぐり』	2006/03
	特別展『東京の古墳 ―品川にも古墳があった―』図録	2005/10
	特別展『大井 ―海に発展するまち―』図録	2006/10
衆議院憲政委員会	『女性参政六十年特別展』図録	2006/10
昭和館	『保存版 授業で使える学習資料 伝えておきたい昭和の暮らし 戦中と戦後』	—
	『昭和の暮らし研究 第4号』	2006/03
	『昭和館館報 第7号 (平成17年度)』	2006/10
	特別企画展『永遠に伝えたい記憶 ～戦中・戦後の暮らし～』図録	2006/10
	特別企画展『手塚治虫の漫画の原点 ～戦争体験と描かれた戦争～』図録	2007/03
台東区立下町風俗資料館	『下町風俗資料館 號外 3月31日、8月1日、3月15日』	2006-2007
玉川大学教育博物館	『博物館ニュース 集(SHU) No.26、27』	2006
(株)丹青研究所	『ミュージアム・データ No.70、71』	2006
地域文化デジタル化推進協議会	『地域文化資産ポータル Vol. 1、2』	2006-2007
調布市教育委員会 郷土博物館	『調布市埋蔵文化財調査報告49 染地遺跡 ～第26地点～』	2000/03
	『東京都調布市 飛田給遺跡』	2005/03
	『東京都調布市 下布田遺跡』	2006/02
	『東京都調布市 埋蔵文化財年報 ～平成16年度～(2004)』	2006/03
	『都立武蔵野の森公園埋蔵文化財調査 ～野水遺跡 第1地点～ 報告書』	2006/03

	『東京都調布市 下布田遺跡 -第75地点(宅地造成工事)の調査-』	2006/09
	市川鍔琅作品展図録『市川鍔琅工房“景勝精舎”』	2006/11
	『東京都調布市 深大寺城山遺跡 -第28地点(宅地造成工事)の調査-』	2006/12
	『調布の文化財 第40号』	2006/10
	『郷土博物館だより No.70』	2007/02
テイケイトレード(株)	『神奈川県平塚市 神明久保遺跡 -第10地点-』	2006/12
東京家政学院生活文化博物館	『東京家政学院生活文化博物館年報 第16号』	2006/03
	特別展『中央アンデスの編む 組む 織る』図録	2006/10
東京都江戸東京博物館	『東京都江戸東京博物館研究報告 第12号』	2006/03
	『江戸東京博物館NEWS vol.53~56』	2006-2007
東京都美術館	『平成18年度東京都美術館年報』	2006/08
東京都埋蔵文化財センター	『東京都埋蔵文化財センター調査報告書 第189集 汐留遺跡IV』	2006/09
(社)日本温泉協会	『温泉 歴史と未来』	2007/02
(財)日本博物館協会	『少年自然の家の自然環境を活用した自然環境玉手箱100(CD-ROM)』	2006/03
	『博物館の望ましい姿シリーズ6 誰にもやさしい博物館づくり事業 外国人対応』	2006/03
	『博物館の望ましい姿シリーズ7 誰にもやさしい博物館づくり事業 バリアフリーのために』	2006/03
	『博物館の望ましい姿シリーズ8 誰にもやさしい博物館づくり事業 高齢者対応』	2006/03
(社)日本ユネスコ協会連盟	『アメリカ・イギリスにおける博物館評価の状況に関する報告書』	2003/03
	『ユネスコ世界遺産年報2006(No.11)』	2006/03
	『ユネスコ世界遺産年報2007(No.12)』	2006/12
(財)日本緑化センター	『松再生プロジェクト 大敵マツノザイセンチュウに挑む』	2005/03
	『松再生プロジェクト 大敵マツノザイセンチュウに挑む(DVD版)』	2006
	『(財)日本緑化センター 概要 パンフレット』	-
	『グリーン・エージ 第33巻第7号』	2006/07
	『マツに親しもう マツは環境案内人』	2006/11
パルテノン多摩	『パルテノン多摩《博物館部門》年報 第8号 2004年度』	2005/12
	『写真集 多摩ニュータウン今昔』	2005/12
	『パルテノン多摩《博物館部門》研究紀要』	2006/01
	『MUSEUM NEWS vol. 4, 5』	2006
	特別展『多摩の里山「原風景」イメージを読み解く』図録	2006/03
府中市郷土の森博物館	『府中市郷土の森博物館ブックレット8 あすか時代の古墳 ～検証！府中 発見の上円下方墳～』	2006/04
	『府中市郷土の森博物館年報 第20号』	2006/11
	『府中市郷土の森博物館紀要 第19号』	2006/03
	『府中市郷土の森博物館紀要 第20号』	2007/03
	『あるむせお No.76~79』	2006-2007
福生市教育委員会	『福生市郷土資料室年報25 ～平成16年度～』	2006/03
福生市郷土資料室	特別展『戦争錦絵に見る日露戦争百年 ～日露戦争と福生日露戦争～』図録	2005/07
船の科学館	『資料ガイド7 幕末の蒸気軍艦「威臨丸」』	2007/01
(株)文化環境研究所	『Cultivate No.28, 29』	2007
	『文環研レポート 第23号』	2007
町田市立自由民権資料館	『自由民権 19号』	2006/03
	『民権ブックス19号 山田卓樹・カクと武相のキリスト教 ～響きあう信仰と運動～』	2006/03
(有)マルタアドバタイジング	『東海道 夜景 五十三次』	2006/09
港区教育委員会	『港区歴史的建造物所在調査報告書 港区の歴史的建造物』	2006/03
	『港区埋蔵文化財調査年報3 ～平成16年度の調査他～』	2006/03
	『港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告44 豊後岡藩中川家屋敷跡 遺跡発掘調査報告書』	2006/03
港区立港郷土資料館	『港郷土資料館館報 -23- 平成16年度版(2004年度版)』	2006/02
	『平成17年度 港区指定文化財(平成17年度10月25日指定)』	-
	『港区立港郷土資料館 資料館だより 第56号』	2005/09
	『港区立港郷土資料館 資料館だより 第57号』	2006/03
	港区政60周年記念事業 特別展『UKIYO-E -名所と版元-』図録	2006/10
	『資料館だより 58号』	2006/09
	『港区立港郷土資料館へ行ってみよう 第4号』	2006/10
明治大学学芸員養成課程	『MUSEUM STUDY17 2005年度明治大学学芸員養成課程紀要』	2006/03
	『MUSEOLOGIST21 2005年度明治大学学芸員養成課程年報』	2006/03
靖国神社社務所	『靖国 第609~620号』	2006-2007
(財)利用運送振興会 物流博物館	『物流がわかる本 ～現代の物流～ ～歴史にみる物流～』	1998/08
	特別展「木と竹と藁の荷造り ～昔の荷物たちが語ること～」図録『昔の荷物 ミニ図鑑』	2004/04
	収蔵資料展『京都馬借／鉄道錦絵コレクション』図録	2001/04
	企画展『宅扱 昭和はじめの宅急便』図録	2003/04
	特別展「日本通運株式会社所蔵・横浜浮世絵コレクション展」図録『横浜浮世絵に見る 近代物流事始』	2002/03
	企画展『企業が写した昭和の風景』図録	2005/04
	『物流博物館NEWS Vol. 9』	2006

新潟県	十日町市教育委員会	『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第30集 平成17年度 十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書』	2006/03
		『十日町市教育委員会 文化財課年報10』	2006/03
		『中里村文化財調査報告書第9輯 久保寺南遺跡』	2001/03
		『中里村文化財調査報告書第11輯 中田B遺跡 中田D遺跡』	2004/03
		『中里村文化財調査報告書第12輯 布場遺跡 原屋敷遺跡』	2004/03
山梨県	環境省自然環境局生物多様性センター 南アルプス市教育委員会	『生物多様性センター ニュースレター 第19～22号』	2006-2007
		『榊形町文化財調査報告書 No.25 町内埋蔵文化財試掘調査報告』	2002/03
		『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第8集 山梨県南アルプス市 寺部村 附第11号遺跡』	2005/03
		『南アルプス市の戦争遺跡 ロタコ ～御勅使河原飛行場跡～』	2006/03
		『山梨県南アルプス市 文化財年報 ～平成15・16・17年度～』	2006/03
長野県	茅野市教育委員会 文化財課 茅野市尖石縄文考古館 茅野市八ヶ岳総合博物館	『尖石遺跡 ～平成17年度記念物保存修理事業(環境整備)に係る試掘調査報告書』	2006/03
		『大悦南遺跡Ⅱ -「丸山工業団地」造成工事に伴う発掘調査報告書-』	2006/03
		『荒玉社周辺遺跡 -平成13年度～平成17年度 茅野市安国寺姫宮土地区画 整理事業に伴う緊急発掘調査報告書-』	2006/03
		『尖石縄文考古館 館報 -平成12年度-』	2001/03
		『紀要 第13号 <平成16年度>』	2005/03
		『紀要 第14号 <平成17年度>』	2006/03
		平成16年度収蔵資料展『～河内晋平と八ヶ岳火山列～「登った 調べた 40余年」図録	2005/02
岐阜県	(財)藤村記念館	『藤村記念館だより No.115～117』	2006-2007
		『伊東市埋蔵文化財調査報告 市内遺跡試掘・確認調査報告』	2006/03
静岡県	伊東市教育委員会 静岡県立美術館 静岡市立登呂博物館 藤枝市郷土博物館 三島市教育委員会	『静岡県立美術館ニュース アマリリス Amaryllis No.81～84』	2006-2007
		『静岡市立登呂博物館研究紀要6』	2006/03
		『静岡市立登呂博物館館報16 -平成17年度-』	2006/09
		『藤枝市郷土博物館 年報17 平成16年度』	2006/03
		『文化財年報 -第17号-』	2005/11
愛知県	安城市歴史博物館 一宮市尾西歴史民俗資料館 豊橋市自然史博物館 豊橋市美術館 豊橋市二川宿本陣資料館	『年報 第15号 平成17年度』	2006/07
		特別展『みんなの学校 ～50人のクラスメイトに囲まれて～』図録	2006/07
		『豊橋市自然史博物館年報 第18号 平成17年度』	2006/06
		『風伯 vol.60～63』	2006-2007
		『豊橋市二川宿本陣資料館 展示案内』	2006/03
		企画展『絵葉書のなかの豊橋 ～思い出の風景をたずねて～』図録	2006/04
		企画展『東海道 名所風景展』図録	2006/07
		企画展『東海道の城下町展Ⅱ』図録	2006/10
		『東海道五十三次宿場展XⅢ ～関・坂下・土山・水口～』図録	2006/02
		テーマ展示『亀山市の名所・旧跡をたずねて ～先人の「まなざし」から見たあたらしい亀山市の歴史めぐり～』図録	2006/03
三重県	亀山市歴史博物館 鈴鹿市考古博物館 藤原岳自然科学館	企画展『宿場のうつりかわり ～亀山・関・坂下～』図録	2005/10
		特別展『こどもも！ おとなも！ 調べて体験博物館 ふかく味わう！ 亀山神社の宝物』図録	2005/03
		『鈴鹿市考古博物館年報 第7号 平成16年度版』	2006/03
		企画展『じょうもん土器とやよい土器』図録	2005/07
		特別展『鏡よ 鏡よ 鏡さん ～北伊勢の古鏡～』図録	2005/10
滋賀県	大津市歴史博物館 草津宿街道交流館	企画展『椎山の中世陶器 partⅡ』図録	2006/01
		『藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第28巻 2005年度号』	2006/06
		『大津歴博だより No.62』	2006
		春季テーマ展『急がば回れ ～東海道と矢橋の渡し～』図録	2005/04
		秋季テーマ展『参勤交代と草津宿本陣』図録	2005/10
京都府	京都市動物園 福知山市丹波生活衣館	春季テーマ展『東海道五十三次 ～広重浮世絵の世界～』図録	2006/04
		『街道文化 通信 vol.11、12』	2005-2006
		『平成17年度事業概要』	2007/02
		新しい「福知山市」誕生・福知山市丹波生活衣館開館5周年記念特別展『丹波木綿-ふるさとの布-』図録	2007/02
		企画展『郷土を調べる ～小神の今と昔～』図録	2006/08
兵庫県	たつの市立龍野歴史文化資料館 兵庫県立美術館	特別展『郷土の力士たち』図録	2006/09
		『地図に載らない文学館 ネットミュージアム兵庫文学館(CD-ROM)』	-
高知県	高知県立牧野植物園	『高知県立牧野植物園 年報 第5号(2005)』	2006/05
		『まきの手帖 spring → summer』	2006/03
		『牧野植物園だより No.25～28』	2006-2007
沖縄県	(財)海洋博覧会記念公園管理財団	『南ぬ風 Vol. 1、2』	2006-2007
		『帯広百年記念館紀要 第24号』	2006/03
北海道	帯広百年記念館		
岩手県	前沢町立牛の博物館	『牛のはくぶつかん No.26、27』	2006-2007

研究報告

大磯町郷土資料館のレファレンスについて

佐川 和裕*

〈はじめに〉

本稿は、平成 18 年度中における、大磯町郷土資料館で対応したレファレンスの一覧と、その若干の考察である。

レファレンスについては、当館が開館 10 周年を迎えた折に、館活動の課題と今後の展望を述べた報告のなかで若干触れたことがある（佐川 1999）。これは平成 9 年度（平成 9 年 4 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日）の 1 年間に対応したレファレンスをまとめたものであるが、当時在籍していた 3 名の学芸員（考古・民俗・自然分野）のうち、民俗分野を担当している筆者のみが受けたレファレンスの集計であり、1 ヶ月に平均 7 件、総計で 87 件のレファレンスに対処したことを報告した。しかし、対象としたレファレンスはすべてを網羅していたわけではない。すなわち、口頭で対応できるような軽易な内容ではなく、資料の閲覧や提供などの作業を伴ったものを対象としたため、必ずしもレファレンスの全貌を集計した内容には至らなかった。このときの報告では、日常業務のなかで、レファレンスの対応が大きな割合を占めることを常日頃から実感していたため、その実情を確認する狙いがあったのだが、あくまでも負担の度合いを問題にするというのではなく、どうすれば利用者にとって有意義でスムーズな対応ができるのかといった建設的な論議の必要性を考える叩き台にするつもりであった。ところが、その後、レファレンスにおける課題解消は遅々として進んでいない。平成 17 年度に、文化財業務を資料館から分離することにもない、考古担当学芸員が生涯学習課へ異動したため、資料館では結果的に 2 名の学芸員によるレファレンス対応となったことも影響している。

そこで、今一度レファレンスについて状況を把握すべく学芸員 2 名が受けたすべてのレファレンスの集計を試みた。本稿の基本的な目的は、まず、館全体の年間レファレンス数、内容、対処方法を再確認することである。そして、集計から全体的な傾向を確認し、あらためて課題を見極めておこうというものである。

〈レファレンス票について〉

レファレンスの対応にあたっては、レファレンス票を作成した。これは平成 9 年度に実施した調査票を踏襲したものである（表 1）。窓口、電話、ファクシミリ、電子メールなどで寄せられたレファレンスを、内容によって人文系と自然系に大別し、それぞれの担当者に振り分けて対応する。そして、対応した担当者がその都度レファレンス票に記録していった。記録内容は、受付日、受付方法、受付者、連絡先（依頼者）、レファレンスの内容、

受付日	平成 年 月 日 (火)	受付方法	受付者
内容			
連絡先	(氏名)	(住所)	TEL/FAX
処理	口頭で回答	資料送付(郵送・FAX)	調査継続 その他

(表 1) レファレンス票

対処方法、対処内容などで、できるだけ具体的に詳しく記録していくことを申し合わせた。具体的な経緯と内容が記述されることで、今後のレファレンスの回答の雛形として利用できるのではないかと考えたためである。つまり、回答の雛形さえあれば、担当者が不在であっても、ある程度すみやかに対処ができるのではないかと、あるいは、今後対応すべき分野の学芸員が万が一異動した場合でも可能な範囲で対処ができるのではないかとのも考えた。以前に課題としてあげていた「利用者にとって有意義でスムーズな対応」を実践するべく考えたわけである。ところが、実際にレファレンス票をつけ始めてまもなく当初の思惑通りにはいかなかった。詳細に記録することに時間を割いてしまうと、レファレンス以外の業務に少なからず影響を与えてしまうことになり、結果的には必要最小限のメモとなってしまったのである。いずれにしても、レファレンス票を記録すること自体に予想以上の仕事量を奪われながらも、とにかく年間を通して基本的な事項を書き込んだ票は作成することができた。

〈レファレンスの傾向について〉

レファレンスの内容が多様であることは言うまでもないが、ここでは基本的に学芸分野におけるレファレンスを対象としており、施設の管理や運営維持に直接かかわるような事務分野は除いている。そのうえで、窓口、電話、ファクシミリ、電子メールなどにより、口頭にて回答可能なものも含め、すべてのレファレンスを対象とした。その結果、学芸員 2 名が 1 年間に対応したレファレンスは総計 450 件に及んだ。当該件数が多いのか少ないのかは、他博物館での傾向を知る資料が手元にないため即断できないが、少なくとも学芸員 2 名がレファレンスに費やす時間からすれば、かなりの仕事量といえる。場合によっては、レファレンスの対応に数日間の調査等をかけざるを得ないことも少なくないため、なおさらその印象が強いのかも知れない。また、1 件のレファレンスにおいて、複数のテーマが含まれていることを

(* 当館学芸員)

考慮すると、テーマ総件数は 551 件にのぼる。レファレンスのテーマを、当館の条例上における取り扱い分野である考古、歴史、民俗、自然を基本として分類することは簡単ではないが、敢えて分けるとすれば、人文系（考古・歴史・民俗・地理・文学・美術）392 件、自然系 39 件、展示 24 件、その他 96 件となる（表 2）。

さらに内訳をみてみると、まず、人文系のうち考古分野では、町内にある横穴墓の所在や内容が 7 件と、当館に所蔵している考古資料についての問合せが 4 件であった。考古担当学芸員が異動によって不在のため、専門的なレファレンスについては異動先に照会せざるをえないが、館においても可能な範囲で対応している。なお、継続的なレファレンス数の調査は実施していないため、あくまでも「印象」の域を出ないが、考古担当学芸員が異動して以降、考古分野のレファレンスはかなり減少したように感じている。

歴史分野は 1 年を通じて最も件数が多い。しかし、開館当初から歴史分野の担当学芸員はおらず、そのほとんどは民俗担当において対応してきた。平成 18 年度の内訳は、古代 1 件、中世 4 件、近世 32 件、近代 96 件、現代 39 件であった。古代は相模国府、中世は旧鎌倉街道や城郭、近世は旧東海道や大磯宿に関する内容であった。近代については、明治時代以降の海水浴場の開設とともに花開いた大磯の別荘文化と、そこにかかわる人物に関わる内容が大半を占めており、レファレンス数も他の時代と比べて飛び抜けた件数を記録している。この集計を見る限りでは、大磯町において最も興味もたれている時代は近代であり、しいては大磯町の外部イメージを認識する手立てとなる。ちなみに、存続問題が話題となっている吉田茂（旧吉田茂邸）や伊藤博文（滄浪閣）についての問い合わせが特に目立った。また、少々変わったところでは、現代にかかわる資料として二宮金次郎像に関する問合せが続いたことがあった。これは、小学校総合学習の「調べ学習」で取り上げたことから、子どもたちのレファレンスへと影響したようである。

民俗分野では、祭礼に関する内容が 100 件、民具や生活道具全般に関する内容が 17 件、道祖神や各種の石仏などの内容が 11 件であった。特に祭礼に関しては、祭礼の開催時期の前後にレファレンスが集中しており、祭礼の開催情報といった簡易なものから、かなり詳しい資料を求める内容まで多様であった。ちなみに、祭礼別では、左義長・セートバライ 27 件、西小磯の七夕行事 21 件、白岩神社祭礼 19 件、御船祭 16 件、高麗寺祭 6 件、国府祭 2 件、その他の祭礼 9 件となっている。国の重要無形民俗文化財に指定されている左義長へのレファレンスは例年のとおりであるが、国の記録選択（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）となっている西小磯の七夕行事に対するレファレンスの急増が目立っている。

地理分野では、地名に関する内容 19 件、古写真や古地図をはじめとした景観に関わる内容が 15 件であった。な

	テーマ件数	内 容
考古	11	横穴墓 7、その他 4
歴史	172	古代 1、中世 4、近世 32、近代 96、現代 39
民俗	151	祭礼 100、民具 17、石造物 11、その他 23
地理	34	地名 19、景観 15
文学	10	島崎藤村 4、菊池重三郎 2、その他 4
美術	14	神仏彫刻 8、その他 6
自然	39	アオバト 13、植物 6、貝類 4、ウミガメ 4 その他 12
展示	24	企画展
その他	96	文化財・収蔵資料・施設全般
合計	551	

（表 2）分野別レファレンス内訳

かでも、個人が土地や建物の取得にあたり、あらかじめ地名や過去の景観・地形を調査に来館されるケースが目立つようになった。つまり、歴史的興味のみならず、防災に対して強い関心を持つ人が増えており、そのための情報収集の場として資料館を利用されているのだと解釈できる。また、古写真については、雑誌などのメディアによるレファレンスも多い。

文学分野では、大磯で没した文豪島崎藤村や、藤村をはじめ多くの文人と親交のあった小説家菊池重三郎についての内容が中心であった。菊池は過去に当館において企画展を開催しており、多くの資料を受託していることによる。ただし、全体のレファレンスの総件数からすれば、その割合は比較的少ないといえよう。

美術分野では、神像や仏像に関わる内容が多かった。これは、先に町指定有形文化財となった木造神像群（高来神社蔵）や、「文化財特別公開」として当館で公開した県重要文化財の木造地藏菩薩坐像（慶覚院蔵）をはじめとした同寺の仏像類の内容が目立った。

一方、自然系の分野では、アオバトに関する内容が多かった。平成 18 年は、大磯の照ヶ崎がアオバトの集団飛来地として神奈川県天然記念物に指定されてから 10 年を迎え、当館においても記念展示を行なったことから話題性が増したことや、アオバトの存在が広く周知されてきたことが背景にあるのだろう。また、平成 18 年度の件数は少ないものの、当館の特徴にあげられるのが、ウミガメに関する内容である。相模湾に面している大磯町では、毎年ウミガメのストランディングについて積極的な情報収集に努めており、平成 14 年以降、当館刊行物『資料館だより』において欠かさず報告がなされている（北水 2002～2006）。神奈川県における有力なウミガメ情報の

発信基地としての機能が高まりつつあるといえるだろう。

最後に、展示やその他のレファレンスが120件であった。展示については主に企画展の内容、その他では文化財全般に関する内容や、観光に関わる内容が主なものであった。なお、今回の集計には入れていないが、当館の立地する大磯城山公園や当館への道順を尋ねる電話など、町外からのアプローチも多い。

以上、1年間にわたり記録したレファレンス票を集計した。振り返ると、票を作成することでレファレンス処理に対する管理徹底につながり、対処漏れといった事態を避けることができた。記録することだけでも大きな効果があったことを付け加えておきたい。

<まとめ>

当館は地域博物館としての役割を認識し、さまざまな活動を実践してきた。本稿で取り上げているレファレンスの対応もそのひとつである。早い時期から地域博物館を標榜してきた平塚市博物館では、その役割を「地域博物館というのは、地域資料についての統合的な情報メディアとしての役割を期待されている」とし、さらにそこで働く学芸員を「町医者的な役割を要求されている」と指摘した(小川1986)。今更ながら的を得た表現として実感される。

レファレンスは1件ごとに内容が異なる。同じテーマであっても利用者の興味のあり方はさまざまであり、一人ひとりに対してきめの細かな対応が必要であることは言うまでもない。その点からすれば、利用者が求めている回答に十分応えられていたのか、常に自省しなければならない。しかし、結論だけを回答するのではなく、利用者自らが考え、調べてもらうための手立てや道筋をアドバイスし、時には利用者と一緒に調べていこうという姿勢を心がけている。とはいっても、あくまでも現実問題として2名という人数がのしかかっている。したがって、決して良い方法であるとは思わないが、少ない人数で、且つ、できる限りの対応をしていくためには、やはり今後は回答のマニュアル化も選択肢のひとつとして考えていかなければならないだろう。

もちろん、博物館側が常に受身である必要はない。例えば、神奈川県博物館協会が、その会誌において博物館と学校教育との連携を集成した報告のなかに、「したくもない宿題のお手伝いはやりません。それよりも、自然や自然科学に興味をもった人には、喜んでともに学びます」(田口2002)という一文がある。学芸員ならばおそらく誰でも心に思っていることを明文化した、まことに痛切なキャッチコピーである。利用者の学ぼうとする意欲を大切に育てていくという博物館の役割を、利用者・博物館双方の共通理解を得るために、博物館側からの積極的なアプローチもあってしかるべきであろう。

一方、各博物館においては、既に組織としてもさまざまな模索が試みられている。本稿では指定管理者制度に言及するものではないが、例えば、教育系学芸員や指導

主事などの配置、レファレンスや学習支援を念頭においた学芸ボランティアの導入、インターネット等による情報システムの整備など、それぞれ工夫の跡がうかがえ、一定の成果を得た博物館も少なくないと聞く。しかし、繰り返しになるが、当館においても同様の問題は、既に開館10年を迎えた折に課題として認識していたことは述べたが、財政状況や職員定数の問題、ボランティア養成にかかる時間的人的負担など、極めて現実的な問題に直面し、課題克服が進んでいないのが現状である。もちろん、手は尽くしている。ワークショップの活動を通じた、いわゆる資料調査や資料整理ボランティアによる活動においては一定の成果は得ているが、それが学習支援やレファレンス対応へ直接つながっているわけではない。

当館は、平成20年度に開館20年を迎える。博物館としてはまさに成熟期を迎える時期にきているが、当館にとっては基本的な課題の克服に向けて、まだまだ試行錯誤が続いている状況にある。近年、行政においては情報公開や個人情報というキーワードのもとで慎重さを求められるあまりに臆病な対応に終始してしまったり、行政サービスという旗印のもとに過剰なまでのサービスを行なうことが決して得策とは思わない。しかし、小規模な博物館であるからこそ、細かなことまで手が届くというように、何事もプラス志向に発想し、何よりも便利で地域に役立つ博物館でありたいと思う気持ちはいつまでも持ち続けたい。

最後に、レファレンス票を作成するという筆者の提案に賛同し、ご協力いただいた北水慶一学芸員に感謝申し上げます。

引用・参考文献

- ・小川直之「情報センターとしての地域博物館」『民具マンスリー』第19巻5号 1986 神奈川県立日本常民文化研究所
- ・佐川和裕「資料館の課題と展望—10年をふりかえって—」『Report 大磯町郷土資料館だより』18・19号 1999 大磯町郷土資料館
- ・田口公則「博物館と学校のかかわりを考える—化石ローンキット活動からの展開—」『神奈川県博物館協会会報』第73号 2002 神奈川県博物館協会
- ・北水慶一「大磯町西小磯おける今夏のウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』23号 2002 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「2003年ウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』24号 2003 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「今夏のウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』25号 2004 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「2005年ウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』26号 2006 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「2006年のストラディング情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』27号 2006 大磯町郷土資料館

平成18年度レファレンス一覧

	受付日	受付方法	依頼者（住所）	レファレンス内容	処理
1	4. 4(火)	電話	個人（小田原市）	①大磯宿について ②大磯町内の史跡について	①②口頭で回答
2	〃	窓口	個人（一）	①「こゆるぎ」について ②旧吉田茂邸について ③城山荘について	①口頭で回答 ②③資料提供
3	〃	窓口	個人（一）	城山荘について	口頭で回答
4	4. 6(木)	窓口	個人（小田原市）	①大磯宿について ②人物の消息について	①②資料提供、他機関への照会
5	4. 7(金)	電話	テレビ局	大磯宿について	口頭で回答
6	4. 9(日)	窓口	個人（横浜市）	①蚕について ②城山公園について	①口頭で回答 ②資料提供
7	4.11(火)	電話	個人（一）	血洗川の地名について	口頭で回答
8	〃	電話	当町観光協会	①旧東海道について ②一里塚の位置について ③テレビ局の取材について	①②③口頭で回答
9	〃	窓口	新聞社	①吉田茂の資料について ②資料の記事掲載について	①②口頭で回答
10	4.12(水)	電話	当町生涯学習課	高麗寺祭について	調査継続（後日資料提供）
11	〃	電話	大学博物館	奉安殿の消息について	口頭で回答
12	〃	電話	町内保育園	ヒキガエルの産卵について	口頭で回答
13	4.13(木)	電話	個人（大磯町）	①資料館の収蔵庫について ②展示企画について ③高麗寺祭について	①②口頭で回答 ③調査継続（後日回答）
14	4.14(金)	窓口	個人（一）	城山荘について	口頭で回答
15	〃	電話	ボランティア団体	照ヶ崎の貝類について	調査継続（後日回答）
16	〃	窓口	個人（一）	サルンボ(オサルサン)について	資料提供
17	〃	窓口	個人（湯河原町）	①資料館の運営について ②共催展について ③旧吉田茂邸について	①②③口頭で回答
18	4.15(土)	電話	個人（一）	資料館の配布資料について	口頭で回答
19	〃	窓口	個人（一）	①四季耕作図について ②大磯町内の植生について	①口頭で回答 ②資料提供
20	〃	窓口	個人（小田原市）	「こゆるぎ」について	口頭で回答
21	〃	窓口	個人（大磯町）	シオヤガイと貝塚について	口頭で回答
22	4.18(火)	電話	個人（横浜市）	楊谷寺横穴古墳群について	調査継続（後日回答）
23	4.19(水)	電話	美術館	安田靱彦の作品について	調査継続（後日回答）
24	4.20(木)	窓口	個人（茅ヶ崎市）	①酒器について ②考古資料について	①口頭で回答 ②調査継続（後日回答）
25	4.21(金)	電話	美術館	安田靱彦の作品について	調査継続（後日回答）
26	4.22(土)	窓口	個人（逗子市）	①サルンボ(オサルサン)について ②旧吉田茂邸について	①②口頭で回答
27	〃	電話	個人（茅ヶ崎市）	①フナドクリについて ②考古資料について	①②資料提供（後日回答）
28	〃	窓口	個人（茅ヶ崎市）	仁王像について	口頭で回答
29	〃	電話	個人（大磯町）	伊藤博文の資料について	口頭で回答
30	〃	電話	映画製作会社	クローバーの開花時期について	口頭で回答
31	〃	窓口	個人（茅ヶ崎市）	神道彫刻と仏教彫刻について	資料提供
32	4.25(火)	電話	個人（八王子市）	民俗学の文献について	調査継続（後日回答）
33	〃	電話	ボランティア団体	①資料館の見学と解説について ②民話について	①②口頭で回答
34	4.26(水)	窓口	ボランティア団体	神社建築について	資料提供
35	4.27(木)	電話	県広報県民課	AM放送の取材について	口頭で回答
36	〃	電話	個人（一）	大磯町域の旧郡名について	口頭で回答
37	〃	窓口	博物館	西小磯七夕行事について	資料提供
38	〃	窓口	個人（大磯町）	照ヶ崎の貝類について	口頭で回答
39	4.28(金)	電話	新聞社	ウミガメの産卵と海岸侵食について	
40	4.29(土)	窓口	個人（一）	別荘の消息について	資料提供
41	5. 2(火)	電話	当町まちづくり課	古地図について	調査継続（後日回答）
42	〃	電話	個人（一）	伊藤博文の資料について	口頭で回答、他機関への照会

43	〃	窓口	個人(大和市)	住宅地形成の基礎資料について	資料提供
44	5. 5(金)	窓口	個人(大磯町)	吉田茂の資料について	調査継続(後日回答)
45	〃	窓口	個人(一)	①常設展示について ②大磯宿について	①②資料提供
46	5. 7(日)	窓口	個人(横須賀市)	①共催展示について ②ソロバンについて	①②口頭で回答
47	〃	電話	当町図書館	写真の所在について	口頭で回答
48	5. 9(火)	電話	個人(一)	地名について	口頭で回答
49	5.10(水)	電話	当町生涯学習課	吉田茂の資料について	口頭で回答
50	5.11(木)	窓口	個人(一)	板碑について	口頭で回答
51	〃	電話	当町経済観光課	町指定天然記念物について	ファミリで資料提供
52	5.12(金)	窓口	個人(一)	松本順について	資料提供
53	〃	窓口	個人(大磯町)	ボディボードについて	口頭で回答
54	〃	窓口	個人(一)	共催展示について	口頭で回答
55	5.14(日)	電話	個人(二宮町)	横穴墓について	調査継続(後日資料提供)
56	5.16(火)	電話	個人(鎌倉市)	高麗山の樹林について	口頭で回答
57	〃	電話	博物館友の会	収蔵資料について	口頭で回答
58	〃	電話	個人(大磯町)	所蔵資料の評価について	現地へ出向
59	〃	電話	個人(大磯町)	①吉田茂の資料について ②小島本陣資料について	①②口頭で回答
60	5.17(水)	電話	個人(一)	雛人形について	口頭で回答
61	〃	電話	個人(一)	アオバトについて	口頭で回答
62	5.18(木)	電話	AM放送局	番組取材について	話者紹介
63	〃	窓口	個人(二宮町)	別荘について	資料提供
64	〃	窓口	ビジターセンター	①戦争遺跡の所在について ②人工池の所在について	①②資料提供
65	〃	電話	当町都市整備課	吉田茂の資料について	口頭で回答
66	〃	窓口	当町都市整備課	吉田茂の資料について	資料提供
67	5.19(金)	電話	個人(一)	①吉田茂の資料について ②旧吉田茂邸の公開について	①②口頭で回答
68	5.20(土)	電話	個人(大磯町)	平塚市出土の土偶について	他機関への照会
69	5.23(火)	電話	個人(一)	アオバトについて	口頭で回答
70	5.24(水)	窓口	個人(大磯町)	戦争遺跡について	口頭で回答
71	〃	窓口	当町教育委員会	所蔵美術資料について	資料の特別利用(撮影)対応
72	〃	電話	個人(一)	アオバトの観察会について	口頭で回答
73	5.25(木)	窓口	ボランティア団体	御船祭について	資料提供
74	〃	電話	当町教育委員会	横穴墓について	ファミリで資料提供
75	5.27(土)	電話	個人(一)	吉田茂の資料について	口頭で回答
76	6. 1(木)	電話	博物館	西小磯七夕行事について	資料提供、資料の特別利用対応
77	6. 2(金)	電話	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	口頭で回答
78	6. 4(日)	電話	個人(一)	館の展示と施設利用について	口頭で回答
79	〃	eメール	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	eメールにて資料提供
80	6. 6(火)	電話	個人(一)	①高麗産出の石について ②旧岩崎邸について	①②口頭で回答
81	6. 9(金)	電話	個人(厚木市)	①アオバトについて ②館の展示について	①②口頭で回答
82	〃	窓口	個人(一)	アオバトについて	口頭で回答
83	6.13(火)	ファミリ	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	ファミリにて回答
84	6.14(水)	電話	雑誌編集社	月遅れと旧暦について	口頭で回答
85	〃	窓口	博物館	西小磯七夕資料について	資料の特別利用(撮影)対応
86	6.16(金)	電話	個人(一)	①さざれ石について ②地名とバス停の名前について	①②口頭で回答
87	〃	電話	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	ファミリで資料提供
88	〃	電話	県公園協会	鎌倉古道について	口頭で回答
89	6.20(火)	電話	雑誌編集社	町内の写真について	口頭で回答
90	〃	電話	雑誌編集社	御船祭について	口頭で回答
91	〃	電話	雑誌編集社	町内の写真について	口頭の回答
92	〃	電話	他町教育委員会	展示と入館料について	口頭の回答
93	6.21(水)	窓口	他市教育委員会	館の施設について	資料提供
94	〃	電話	テレビ局	アオバトの撮影について	口頭で回答
95	6.22(木)	電話	雑誌編集社	御船祭について	口頭で回答
96	6.25(日)	電話	個人(大磯町)	他博物館の情報について	口頭で回答

97	〃	電話	個人（大磯町）	鎌倉囃子について	口頭で回答
98	〃	電話	設計会社	ボーリングデータについて	調査継続（後日回答）
99	〃	窓口	県公園協会	城山荘の写真について	口頭で回答
100	7. 4(火)	電話	個人（横浜市）	①小磯城と城山について ②横穴墓群について ③御船祭について	①②③口頭で回答
101	〃	窓口	設計会社	高来神社について	資料提供
102	〃	電話	雑誌編集社	企画展示について	ファクシミリにて資料提供
103	7. 5(水)	電話	AM放送局	大磯全般について	口頭で回答
104	〃	電話	大学教員	①城山荘について ②資料の見学について	①②調査継続（後日回答）
105	〃	窓口	博物館	西小磯七夕行事について	口頭で回答
106	〃	電話	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	口頭で回答
107	〃	電話	テレビ局	アオバトの撮影について	口頭で回答
108	〃	窓口	県公園協会	城山荘の写真について	口頭で回答
109	7. 6(木)	電話	個人（大磯町）	七夕行事について	口頭で回答
110	〃	電話	個人（大磯町）	屋根の茅について	調査継続（後日回答）
111	〃	窓口	個人（大磯町）	①安田善次郎邸について ②石造物について ③郷土誌について	①②③調査継続
112	〃	電話	個人（大磯町）	御船祭について	口頭で回答
113	7. 7(金)	電話	新聞社	御船祭について	口頭で回答
114	〃	電話	個人（ ー ）	地鎮祭と神社について	口頭で回答
115	〃	電話	当町財政課	文化財について	口頭で回答
116	〃	電話	個人（ ー ）	①史跡・文化財の所在について ②合併について	①②口頭で回答
117	7. 8(土)	電話	個人（ ー ）	御船祭について	口頭で回答
118	〃	電話	個人（横浜市）	御船祭について	口頭で回答
119	7. 11(火)	電話	個人（ ー ）	文化財報告書について	口頭で回答
120	〃	電話	祭礼保存団体	資料の所在について	現地出向、調査継続（後日回答）
121	〃	電話	個人（大磯町）	国府祭と神揃山について	調査継続（後日郵送で資料提供）
122	〃	電話	テレビ局	アオバトの撮影について	口頭で回答
123	〃	窓口	個人（茅ヶ崎市）	薬草について	口頭で回答
124	7. 12(水)	電話	個人（ ー ）	写真等の著作権について	口頭で回答
125	〃	電話	大学教員	①西小磯七夕行事について ②御船祭について	①②口頭で回答
126	7. 13(木)	窓口	個人（平塚市）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
127	〃	電話	新聞社	御船祭について	口頭で回答
128	7. 16(日)	電話	個人（ ー ）	御船祭の山車について	口頭で回答
129	〃	電話	個人（ ー ）	御船祭について	口頭で回答
130	〃	電話	個人（ ー ）	御船祭について	口頭で回答
131	〃	電話	個人（ ー ）	御船祭の山車の飾りについて	口頭で回答
132	7. 19(水)	窓口	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	資料の館外貸出対応
133	〃	ファクシミリ	電話会社	左義長について	ファクシミリで回答
134	〃	電話	個人（茅ヶ崎市）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
135	〃	電話	テレビ局	海の家について	口頭で回答
136	〃	電話	大学教員	資料の見学について	口頭で回答
137	7. 20(木)	ファクシミリ	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	ファクシミリで回答
138	〃	電話	大学教員	西小磯七夕行事について	口頭で回答
139	〃	電話	他町教育委員会	資料の燻蒸について	口頭で回答
140	〃	電話	個人（横浜市）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
141	7. 21(金)	電話	博物館	西小磯七夕行事について	口頭で回答
142	〃	電話	雑誌編集社	海水浴場の写真について	口頭で回答
143	7. 23(日)	窓口	個人（ ー ）	研究紀要について	口頭で回答
144	〃	電話	個人（ ー ）	別荘について	口頭で回答
145	7. 25(火)	電話	他町教育委員会	埋蔵文化財について	口頭で回答
146	7. 28(金)	電話	個人（横浜市）	道祖神について	調査継続（ファクシミリで資料提供）
147	7. 29(土)	電話	中学校教員	高麗について	調査継続（後日回答）
148	〃	電話	個人（藤沢市）	企画展示について	口頭で回答
149	〃	電話	個人（箱根町）	天然記念物について	口頭で回答
150	7. 30(日)	電話	個人（都留市）	アオバトについて	郵送で資料提供
151	8. 1(火)	電話	博物館	西小磯七夕行事について	口頭で回答

152	〃	電話	個人（小田原市）	民俗調査について	調査継続（後日回答）
153	8. 2(水)	電話	他町教育委員会	①施設と備品について ②資料と収蔵庫について	①②口頭で回答
154	〃	電話	個人（一）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
155	〃	電話	県OB会	①企画展示について ②見学について	①②口頭で回答
156	8. 3(木)	電話	NPO法人	西小磯七夕行事について	調査継続（後日回答）
157	〃	窓口	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
158	8. 4(金)	電話	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	調査継続（後日回答）
159	8. 6(土)	eメール	個人（小田原市）	民俗調査について	eメールで回答、話者紹介
160	8. 9(水)	窓口	個人（大磯町）	アオバトについて	資料提供
161	〃	電話	個人（大磯町）	さざれ石について	口頭で回答
162	〃	電話	個人（大阪府）	アオバトについて	ファクシミリで資料提供
163	8.10(木)	電話	雑誌編集社	地名について	口頭で回答
164	8.11(金)	電話	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
165	〃	電話	雑誌編集社	①湘南について ②鳴立庵について	①②口頭で回答
166	〃	窓口	個人（大磯町）	ハクビシンについて	資料提供
167	8.15(火)	電話	個人（横浜市）	道祖神について	ファクシミリで資料提供
168	〃	窓口	個人（大磯町）	馬場公園の生物について	資料提供
169	8.16(水)	窓口	個人（大磯町）	①禰龍館について ②海水浴場について	①②口頭で回答
170	〃	電話	個人（小田原市）	民俗調査について	話者紹介
171	8.17(木)	電話	個人（秦野市）	資料の保存について	口頭で回答
172	8.18(金)	窓口	中学校教員	高麗について	資料提供
173	〃	窓口	個人（大磯町）	①ウミガメについて ②海について	①②資料提供
174	〃	窓口	当町まちづくり課	①指定文化財・史跡について ②祭礼について ③道祖神等について	①②③資料提供
175	〃	窓口	個人（大磯町）	ウミガメについて	ファクシミリで資料提供
176	〃	電話	個人（大阪府）	照ヶ崎とアオバトについて	口頭で回答
177	8.19(土)	窓口	個人（一）	カブトムシの集まる樹木について	口頭で回答
178	〃	窓口	個人（一）	ピロードテンツキについて	口頭で回答
179	〃	電話	美術館	アオバトについて	口頭で回答
180	〃	電話	個人（一）	ウミガメの産卵状況について	口頭で回答
181	8.22(火)	窓口	小学校教員	坂田山心中について	資料提供
182	〃	窓口	個人（大磯町）	二宮金次郎について	資料提供
183	8.24(木)	電話	個人（一）	旧高麗寺について	調査継続（後日回答）
184	8.25(金)	電話	個人（大磯町）	地名について	口頭で回答
185	〃	窓口	個人（大磯町）	地名について	資料提供
186	〃	電話	個人（大磯町）	資料の価値判断について	口頭で回答
187	〃	窓口	個人（大磯町）	地名について	資料提供
188	〃	窓口	県公園協会	城山荘について	調査継続（後日回答）
189	8.27(日)	窓口	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
190	〃	電話	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
191	8.29(火)	電話	個人（一）	松本順謝恩碑について	口頭で回答
192	8.30(水)	電話	当町美化センター	ブルーギルについて	口頭で回答
193	〃	電話	当町図書館	写真資料について	口頭で回答
194	〃	電話	個人（平塚市）	近世資料の所在について	調査継続（後日回答）
195	〃	窓口	県公園協会	園内説明の原稿について	調査継続（後日回答）
196	〃	電話	当町観光協会	文化人の居住地について	調査継続（後日回答）
197	〃	電話	当町財政課	絵画資料の寄付について	口頭で回答
198	9. 1(金)	電話	当町図書館	歴史資料の移管について	口頭で回答
199	9. 2(土)	窓口	個人（大磯町）	国府地区の祭りについて	口頭で回答
200	〃	窓口	中学校教員	ハクビシンについて	口頭で回答
201	9. 5(火)	電話	当町観光協会	観光パンフレットの記述内容について	口頭で回答
202	9. 6(水)	電話	文化財修復会社	まわり地蔵について	口頭で回答
203	〃	電話	ボランティア団体	城山荘について	口頭で回答
204	〃	電話	雑誌編集社	松並木の写真について	調査継続（後日回答）
205	〃	電話	美術館	絵画資料について	調査継続（後日回答）
206	9. 7(木)	電話	町内区長	まわり地蔵について	口頭で回答

207	〃	電話	雑誌編集社	吉田茂の資料について	他機関への照会
208	9. 8(金)	窓口	個人(東松山市)	旧池田成彬邸について	口頭で回答
209	9. 12(火)	電話	当町まちづくり課	調査報告書について	調査継続(後日回答)
210	9. 13(水)	電話	個人(一)	稲の掛け干しについて	口頭で回答
211	〃	電話	県教育委員会	左義長について	口頭で回答
212	9. 15(金)	電話	個人(東松山市)	旧池田成彬邸について	口頭で回答
213	9. 20(水)	窓口	町内区長、副区長	文化財・史跡について	資料提供
214	〃	窓口	大学教員	①城山荘について ②資料見学(公開講座)について	①②調査継続(後日回答)
215	9. 21(木)	窓口	個人(一)	八咫鳥について	口頭で回答
216	9. 22(金)	電話	個人(一)	旧東海道について	口頭で回答
217	9. 24(日)	窓口	個人(一)	昔話について	資料提供
218	9. 28(木)	窓口	大学教員	長者園について	資料提供
219	〃	電話	学術団体	研究会の開催について	口頭で回答
220	9. 30(土)	電話	学術団体	県内学術団体の所在について	口頭で回答
221	10. 3(火)	電話	観光会社	①湘南発祥の地について ②旧吉田茂邸について	
222	10. 6(金)	電話	個人(茅ヶ崎市)	松並木と松林について	口頭で回答
223	10. 7(土)	電話	大学研究室	①谷口吉郎について ②島崎藤村について	①②調査継続(後日回答)
224	10. 11(水)	電話	個人(一)	調査報告書について	口頭で回答
225	〃	窓口	個人(一)	調査報告書について	資料提供
226	10. 13(金)	電話	県都市整備公園課	別荘の定義について	口頭で回答
227	〃	電話	個人(一)	大磯の登場する歌舞伎について	口頭で回答
228	10. 17(火)	電話	映画製作会社	①大磯宿について ②左義長について	①②口頭で回答
229	10. 18(水)	電話	個人(藤沢市)	陶磁器の刻まれた銘について	口頭で回答
230	〃	電話	新聞社	文化財特別公開について	口頭で回答
231	〃	電話	個人(大磯町)	国府庵について	調査継続(後日回答)
232	〃	電話	当町図書館	写真資料について	口頭で回答
233	10. 19(木)	窓口	大学教員	城山荘について	資料提供、調査継続(後日回答)
234	10. 22(日)	窓口	個人(一)	展望台のモニュメントについて	調査継続(後日資料提供)
235	10. 23(月)	電話	個人(一)	寄託資料について	ファクシミリで資料提供
236	〃	電話	設計会社	滄浪閣について	口頭で回答
237	10. 25(水)	電話	大学研究室	収蔵資料について	口頭で回答
238	〃	電話	個人(一)	江戸時代の特産物について	口頭で回答
239	10. 27(金)	電話	個人(一)	①城山庵について ②鎌倉～大磯の見どころについて	①②口頭で回答
240	〃	電話	当町経済観光課	松本順謝恩碑について	口頭で回答
241	10. 31(火)	電話	他町教育委員会	収蔵資料と施設・空調について	口頭で回答
242	〃	電話	当町教育委員会	海水浴場について	ファクシミリで資料提供
243	11. 1(水)	電話	当町経済観光課	石屋について	口頭で回答
244	〃	電話	当町生涯学習課	諏訪神社の大松について	口頭で回答
245	〃	電話	当町教育委員会	佐土原さんの坂について	ファクシミリで資料提供
246	11. 5(日)	窓口	大学研究室	藤村記念堂の資料について	特別利用(撮影)対応
247	11. 7(火)	電話	大学教員	①城山荘について ②公開講座について	①②口頭で回答
248	〃	電話	博物館	吉田茂の資料について	口頭で回答
249	11. 9(木)	電話	町内区長	まわり地蔵について	口頭で回答
250	11. 12(日)	電話	個人(一)	企画展示について	口頭で回答
251	〃	窓口	祭礼保存団体	白岩神社について	調査継続(後日回答)
252	11. 15(水)	電話	大学	学芸員実習について	口頭で回答
253	11. 17(金)	電話	町内区長	まわり地蔵について	現地へ出向
254	〃	電話	博物館	収蔵資料について	口頭で回答
255	11. 24(金)	電話	他市教育委員会	民話について	口頭で回答
256	〃	電話	個人(東京都)	嶋立庵について	口頭で回答
257	〃	窓口	博物館	石神台について	口頭で回答
258	11. 25(土)	電話	個人(大磯町)	上総堀について	調査継続(後日回答)
259	〃	窓口	祭礼保存団体	白岩神社について	口頭で回答
260	〃	電話	町内神社	①天海僧正の山号額について ②松本順の書額について ③俳句の奉納額について	①②③調査継続(後日回答)

261	11. 28(火)	窓口	個人 (一)	①海水浴場について ②石造物について	①②資料提供
262	〃	電話	当町図書館	写真資料について	口頭で回答
263	〃	電話	個人 (平塚市)	資料の所在について	資料の受入対応
264	11. 29(水)	電話	当町経済観光課	文化財の解説について	調査継続 (後日回答)
265	11. 30(木)	電話	個人 (横浜市)	口承文芸について	資料提供
266	〃	電話	大学研究室	ハワイ移民について	調査継続 (後日回答)
267	12. 1(金)	電話	個人 (茨城県)	①御船祭について ②サルンボ(オサルサン)について	①②口頭で回答
268	12. 3(日)	電話	個人 (一)	建築家の足跡について	調査継続 (後日回答)
269	〃	窓口	個人 (大磯町)	上総堀について	調査継続 (後日資料提供)
270	〃	電話	個人 (平塚市)	資料の所在について	現地へ出向
271	12. 5(火)	電話	当町教育委員会	百足屋旅館について	口頭で回答
272	〃	電話	個人 (大磯町)	①伝馬制度について ②白岩神社について	①②口頭で回答
273	〃	電話	当町教育委員会	①百足屋旅館について ②こよろぎ焼について	①②口頭で回答
274	〃	電話	個人 (大磯町)	地域の氏神について	口頭で回答
275	〃	電話	雑誌編集社	左義長について	口頭で回答
276	〃	窓口	個人 (大磯町)	千手観音について	口頭で回答
277	12. 7(木)	電話	警察署	地名について	口頭で回答
278	〃	電話	個人 (羽村市)	海水浴場の資料について	ファクシミリで資料提供
279	〃	電話	当町経済観光課	宿場の施設について	調査継続 (後日回答)
280	〃	eメール	当町経済観光課	石造物について	eメールにて回答
281	12. 8(金)	電話	個人 (静岡市)	①道祖神について ②左義長について	①②郵送で資料提供
282	12. 10(日)	電話	祭礼保存団体	白岩神社の祭礼について	ファクシミリで資料提供
283	〃	電話	博物館	マイワイについて	ファクシミリで資料提供
284	〃	窓口	ボランティア団体	①禰龍館について ②招仙閣について ③旧赤星邸について ④滄浪閣について ⑤山県有朋について	①②③④⑤資料提供
285	12. 13(水)	電話	当町生涯学習課	左義長について	口頭で回答
286	〃	電話	博物館	マイワイについて	口頭で回答
287	〃	電話	ボランティア団体	写真資料の著作権について	口頭で回答
288	〃	電話	博物館	所蔵資料について	口頭で回答
289	〃	電話	当町経済観光課	①鴨立庵の資料について ②見附について ③石造物について	①調査継続 (後日回答) ②③口頭で回答
290	12. 14(木)	電話	個人 (一)	左義長について	口頭で回答
291	〃	電話	当町まちづくり課	①鴨立庵について ②旧島崎藤村邸について	①②調査継続 (後日回答)
292	〃	電話	個人 (大磯町)	旧東海道坂下宿について	他機関への照会
293	〃	電話	個人 (一)	左義長について	口頭で回答
294	12. 15(金)	電話	町内区長	まわり地蔵について	現地へ出向
295	〃	電話	大学教員	城山荘の資料について	口頭で回答
296	12. 16(土)	電話	大学教員	城山荘の資料について	口頭で回答
297	12. 19(火)	電話	大学教員	城山荘の資料について	口頭で回答
298	〃	電話	個人 (大磯町)	愛宕市について	口頭で回答
299	〃	窓口	町内区長	セートバライについて	口頭で回答
300	〃	電話	当町教育委員会	町内居住の文化人について	調査継続 (後日回答)
301	12. 20(水)	電話	個人 (大磯町)	白岩神社の境内祠について	口頭で回答
302	〃	電話	個人 (大磯町)	白岩神社について	口頭で回答
303	12. 21(木)	電話	市史編纂室	左義長について	口頭で回答
304	12. 22(金)	電話	大学教員	公開講座について	口頭で回答
305	〃	電話	当町学校教育課	写真資料について	口頭で回答
306	12. 24(日)	窓口	ボランティア団体	写真資料について	特別利用(撮影)対応
307	〃	電話	個人 (大磯町)	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
308	12. 25(火)	eメール	当町生涯学習課	文化財特別公開について	eメールで回答
309	12. 26(水)	電話	町内祭礼保存団体	白岩神社について	口頭で回答
310	1. 4(木)	窓口	ボランティア団体	写真資料について	資料提供

311	〃	電話	個人（一）	旧村井吉兵衛邸について	口頭で回答
312	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
313	1. 5(金)	電話	個人（東京都）	歌碑について	口頭で回答
314	〃	電話	個人（一）	マイワイについて	口頭で回答
315	〃	電話	文学館	菊池重三郎の資料について	調査継続（後日回答）
316	〃	電話	当町生涯学習課	滄浪閣について	調査継続（後日回答）
317	1. 9(火)	電話	県公園協会	城山荘について	資料提供
318	1.10(水)	電話	当町役場受付	地名について	口頭で回答
319	〃	電話	個人（一）	堂後下横穴墓群について	口頭で回答
320	〃	電話	当町生涯学習課	左義長の映像について	口頭で回答
321	〃	窓口	中学校教員	左義長の映像について	口頭で回答
322	〃	電話	当町生涯学習課	左義長について	口頭で回答
323	1.11(木)	電話	当町経済観光課	松本順について	調査継続（後日回答）
324	〃	電話	F M放送局	左義長について	口頭で回答
325	1.12(金)	窓口	当町都市整備課	石造物の移設について	口頭で回答
326	〃	窓口	個人（伊勢原市）	丸型郵便ポストについて	口頭で回答
327	〃	窓口	個人（平塚市）	①城山横穴墓群について ②高麗山の解説内容について ③名主について	①②③口頭で回答
328	〃	電話	新聞社	左義長について	口頭で回答
329	1.14(日)	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
330	〃	電話	新聞社	左義長について	口頭で回答
331	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
332	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
333	1.16(火)	窓口	学術団体	如庵の移築について	口頭で回答
334	〃	窓口	個人（平塚市）	藤公碑について	口頭で回答
335	〃	電話	当町企画室	左義長のヤナゴッコについて	ファクシミリで資料提供
336	1.17(水)	ファクシミリ	新聞社	企画展示について	ファクシミリで回答
337	〃	電話	当町企画室	吉田茂の資料について	ファクシミリで資料提供
338	〃	ファクシミリ	雑誌編集社	企画展示について	ファクシミリで回答
339	〃	窓口	テレビ局	展示資料について	展示解説、特別利用（撮影）対応
340	〃	窓口	学術団体	写真資料について	口頭で回答
341	〃	電話	博物館	写真資料について	口頭で回答
342	1.18(木)	電話	当町企画室	吉田茂の資料について	口頭で回答
343	〃	電話	雑誌編集社	高麗の山神輿について	口頭で回答
344	〃	電話	雑誌編集社	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
345	〃	電話	新聞社	左義長について	口頭で回答
346	1.23(火)	電話	雑誌編集社	展示資料について	eメールで資料提供
347	〃	電話	他町教育委員会	文化財について	口頭で回答
348	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
349	1.24(水)	電話	学習団体	企画展示について	口頭で回答
350	〃	電話	大学教員	所蔵資料について	口頭で回答
351	1.25(木)	電話	当町経済観光課	石造物について	口頭で回答
352	〃	電話	学術団体	仏像の写真について	調査継続（後日回答）
353	〃	電話	文学館	菊池重三郎の資料について	口頭で回答
354	〃	窓口	町内会役員	白岩神社の祭礼について	調査継続（後日回答）
355	1.26(金)	ファクシミリ	雑誌編集社	高麗山の山神輿について	ファクシミリで回答
356	〃	電話	映画製作会社	セートバライについて	ファクシミリで回答
357	〃	窓口	個人（平塚市）	雛人形について	口頭で回答
358	1.28(日)	電話	雑誌編集社	高麗の山神輿について	ファクシミリで回答
359	〃	電話	旅行会社	旧吉田茂邸について	口頭で回答
360	〃	窓口	個人（大磯町）	仏像の撮影について	口頭で回答
361	〃	窓口	個人（横浜市）	史跡めぐりのコースについて	口頭で回答
362	1.30(火)	電話	個人（二宮町）	二宮町古屋敷の横穴について	調査継続（後日現地へ出向）
363	1.31(水)	電話	個人（一）	①白岩神社について ②賽神社について	①②口頭で回答
364	2. 2(金)	電話	個人（一）	展示について	口頭で回答
365	〃	電話	町内寺院	文化財保護について	調査継続（後日回答）
366	2. 3(土)	窓口	個人（一）	ハイキングコースについて	口頭で回答
367	〃	窓口	雑誌編集社	海水浴について	展示解説、特別利用（撮影）対応
368	〃	窓口	個人（一）	ハイキングコースについて	資料提供
369	〃	窓口	個人（一）	高来神社の神像について	口頭で回答

370	2. 6(火)	電話	文化財専門委員	白岩神社の祭礼について	調査継続 (後日郵送で資料提供)
371	"	電話	ボランティア団体	文化財について	口頭で回答
372	"	窓口	当町経済観光課	展示について	資料提供
373	"	電話	雑誌編集社	島崎藤村について	口頭で回答
374	"	電話	テレビ番組制作会社	旧東海道の宿場について	口頭で回答
375	"	窓口	ボランティア団体	史跡めぐりにについて	口頭で回答
376	2. 7(水)	電話	個人 (一)	鳴立沢について	口頭で回答
377	"	電話	雑誌編集社	島崎藤村の資料について	口頭で回答
378	"	窓口	個人 (一)	文化財保護について	口頭で回答
379	"	電話	当町経済観光課	①高麗の植木市について ②石造物について	①②口頭で回答
380	2. 8(木)	窓口	ボランティア団体	松本順について	口頭で回答
381	"	窓口	祭礼保存団体	①白岩神社について ②古文書の釈文について	①口頭で回答 ②調査継続 (後日回答)
382	"	窓口	個人 (一)	①ハイキングコースについて ②公園の園路について	①②口頭で回答
383	2. 9(金)	電話	雑誌編集社	島崎藤村の資料について	調査継続 (後日回答)
384	"	電話	他町教育委員会	展示設計について	口頭で回答
385	"	窓口	博物館	収蔵資料について	資料の特別利用(撮影)対応
386	2.11(日)	電話	文化財専門委員	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
387	"	電話	個人(大磯町)	マイワイについて	口頭で回答
388	2.15(木)	電話	当町経済観光課	湘南平について	口頭で回答
389	2.16(金)	窓口	雑誌編集社	大磯在住の人物資料について	資料の特別利用(撮影)対応
390	"	電話	個人(茅ヶ崎市)	大磯甚句について	口頭で回答
391	2.20(火)	電話	旅行会社	城山公園について	口頭で回答
392	"	電話	個人 (一)	湘南アルプスと高麗山について	口頭で回答
393	2.21(水)	窓口	個人 (一)	歌の枕詞について	口頭で回答
394	"	窓口	個人(大磯町)	キルトについて	調査継続
395	2.22(木)	電話	個人(横浜市)	城山荘について	口頭で回答
396	"	電話	個人(大磯町)	旧清水別荘について	口頭で回答
397	"	電話	県教育委員会	文化財について	調査継続 (後日郵送で資料提供)
398	"	窓口	祭礼保存団体	白岩神社について	資料提供、調査継続(後日回答)
399	"	窓口	個人(海老名市)	旧是長邸について	資料提供、調査継続(後日回答)
400	"	電話	祭礼保存団体	白岩神社の資料について	口頭で回答
401	"	電話	当町生涯学習課	左義長について	口頭で回答
402	2.23(金)	電話	個人(大磯町)	稲荷講の道具について	口頭で回答
403	2.27(火)	電話	個人 (一)	小田原の文化財について	他機関への照会
404	2.28(水)	窓口	個人 (一)	正岡子規について	口頭で回答
405	"	電話	博物館	国府祭の指定範囲について	口頭で回答
406	"	窓口	個人(横浜市)	左義長について	口頭で回答
407	"	窓口	博物館	収蔵資料について	資料の館外貸出対応
408	3. 1(木)	窓口	F M放送局	町の紹介について	展示解説、特別利用(撮影)対応
409	"	窓口	町内寺院	慶覚院の仁王像について	口頭で回答
410	"	電話	文化財専門委員	白岩神社の祭礼につて	口頭で回答
411	3. 2(金)	窓口	祭礼保存団体	白岩神社の資料について	口頭で回答
412	"	電話	博物館	収蔵資料について	口頭で回答
413	"	窓口	個人(秦野市)	慶覚院の本尊について	口頭で回答
414	3. 6(火)	電話	個人(大磯町)	企画展示について	資料提供
415	"	電話	県教育委員会	西小磯七夕行事の映像について	口頭で回答
416	"	窓口	個人(平塚市)	鳴立庵の資料について	口頭で回答
417	3. 7(水)	電話	個人(鎌倉市)	高来神社の神像について	口頭で回答
418	"	窓口	個人(大磯町)	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
419	"	電話	個人 (一)	企画展示について	口頭で回答
420	3. 9(金)	電話	個人 (一)	歌の枕詞について	口頭で回答
421	3.10(土)	窓口	個人 (一)	旧高麗寺について	資料提供
422	3.14(水)	電話	個人(東京都)	松本順の写真について	口頭で回答
423	"	電話	当町観光協会	調査報告書について	調査継続
424	"	電話	警察署	地名について	口頭で回答
425	"	電話	当町企画室	滄浪閣について	調査継続
426	"	窓口	個人(大磯町)	資料の所在について	口頭で回答
427	"	電話	不動産会社	滄浪閣について	口頭で回答
428	"	電話	個人(大磯町)	高橋是清について	口頭で回答

429	3.15(木)	窓口	個人(秦野市)	照ヶ崎の貝の同定について	口頭で回答
430	3.16(金)	窓口	個人(大磯町)	布と着物について	調査継続
431	3.17(土)	窓口	個人(浜松市)	相模国府について	口頭で回答
432	3.22(木)	電話	個人(大磯町)	大正時代の教科書について	現地へ出向
433	"	窓口	個人(大磯町)	資料の保存処理について	資料の特別利用対応
434	"	電話	映画製作会社	セートバライについて	調査継続(後日回答)
435	"	電話	当町町民課	滄浪閣について	口頭で回答
436	"	電話	不動産会社	滄浪閣について	口頭で回答
437	"	窓口	個人(大磯町)	文化財について	口頭で回答
438	"	電話	個人(大磯町)	布と着物について	現地へ出向
439	"	電話	文化財修復会社	まわり地蔵の錫杖について	口頭で回答
440	3.23(金)	電話	町内区長	まわり地蔵について	調査継続(後日現地へ出向)
441	"	窓口	文化財修復会社	①旧吉田茂邸について ②滄浪閣について	①②調査継続(後日回答)
442	"	電話	個人(二宮町)	企画展示について	口頭で回答
443	"	窓口	大学病院	展示の見学について	口頭で回答
444	3.27(火)	窓口	個人(一)	鳴立庵主について	口頭で回答
445	3.29(木)	窓口	当町まちづくり課	指定・登録文化財について	資料提供
446	"	窓口	個人(藤沢市)	耕余塾について	口頭で回答
447	"	窓口	個人(一)	①旧鎌倉街道について ②旧東海道について	①②口頭で回答
448	"	窓口	個人(大磯町)	大磯町全般について	口頭で回答
449	3.30(金)	電話	個人(一)	川合玉堂について	調査継続(後日回答)
450	"	窓口	個人(一)	大磯町の漁業について	資料提供

年 報

平成 18 年度

◇ 平成 19 年 12 月 28 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463 (61) 4700

FAX 0463 (61) 4660